

科目名	基礎ゼミナール（スタディスキル）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	前期			
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、福岡 泰子 、立川 美香、金川 真理		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 大学生として必要な基本的態度や学習技術、学習習慣を身につけ、大学生活への動機付けとする。また、自ら考え・学ぶ姿勢、相手の意見を聴く姿勢を身につけ、コミュニケーション能力を獲得する。大学生活を送る上でのマナーや自己管理について考え、生活を整える。 （担当教員全員が、大学教員および看護職としての実務経験を基にこの授業を行う）							
<b>到達目標</b> B1101 1. 大学で学ぶ姿勢を身につける 2. 大学の仕組み、大学での学びについて理解できる 3. スタディスキルを身につける（聴く、読む、書く、話す） 4. 大学生としての生活やマナーを身につける 5. 自ら目標設定し、評価できる			<b>成績評価方法</b> 授業内レポート 授業外レポート（提出物） 最終レポート				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、大学で学ぶということ 【予習】 シラバスを確認する（10分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
2) 大学で学ぶということ2（大学生生活、時間管理） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
3) 香川学園について（香川昌子伝）・建学の精神 宇部フロンティア大学について 【予習】 資料を読んでくる、大学のHPを見てくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
4) 入学前課題 図書館の活用（見学） 【予習】 資料を読んでくる、大学の図書館のHPを見てくる（15分） 【復習】 入学前課題について、再度確認をする（30分）	入学前課題の自己採点 振り返りシート
5) 自分の強みを探そう1 PROGテスト（社会人基礎力の可視化） 【予習】 資料を読んでくる 【復習】 資料を再度よみ、振り返る	
6) 聴く力：ノートテイキング・メモをとること 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	グループワーク 振り返りシート
7) 読む力：文章の読み方 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
8) 書く力：文章の書き方 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
9) 聴く力、読む力、書く力のまとめ 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
10) レポートの書き方 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	レポート課題
11) 大学生としてのマナー（キャリア支援センター） 【予習】 資料を読んでくる 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート 演習
12) 大学生としての生活（マネーマネジメント）（学外講師） 【予習】 資料を読んでくる 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
13) 話す力：コミュニケーションスキル（学外講師） 【予習】 資料を読んでくる 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
14) 自分の強みを探そう（PROG解説）（キャリア支援センター） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
15) 前期のまとめ・振り返り・夏休みの過ごし方 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（20分）	振り返りシート
授業外学習	
講義資料は該当ページに目をとおしてから授業に臨んでください。資料の該当ページはガイドブックを参照してください。授業で提示された提出物は翌週の提出です。なるべくその日のうちに復習を兼ねて取り組んで下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付（基礎ゼミナール講義資料、ガイドブック）	看護学全ての科目に関連する

課題に対するフィードバック

提出物は、授業内でコメントする  
レポートは、コメントして返却する

備考

遅刻、理由のない欠席をしないこと  
授業途中での退席をしないこと  
携帯電話の使用・飲食・私語を禁ずる  
各回に振り返りシートを用いて振り返りを行う

科目名	基礎ゼミナール（キャリアデザイン）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、新開 奏恵、福岡 泰子、清水 佑子、金子 真弓、柿並 洋子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状				
<b>授業概要</b> グループワークを通じて、円滑なグループワークの運営を行うためのスキルを身につけ、発表を通じて他者に伝える力を養う。また将来の看護職としての自己像を描き、自己像に近づくための方法を考え、看護職者・社会人としての基本的な姿勢や態度を身につける。 （担当教員全員が、大学教員としての実務経験を基に授業を行う）							
<b>到達目標</b> B1102 1. グループワークが効果的に進められる 2. 効果的なプレゼンテーションが行える 3. 自分のキャリアがデザインできる 4. 自分の4年後の姿を踏まえた目標設定ができる 5. 患者の体験談を通じて、患者の気持ちやおかれている立場を理解する				<b>成績評価方法</b> レポート、グループワーク、プレゼンテーションを総合的に評価する			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 後期オリエンテーション、後期目標の設定、前期、夏休みの振り返り 【予習】 前期、夏休みの振り返りをしておく（15分） 【復習】 資料を読み、振り返る（15分）	振り返りシート
2) グループワークとは 【予習】 資料を読んでおく（15分） 【復習】 資料をもとに振り返りをしておく（15分）	振り返りシート
3) プレゼンテーションスキル 【予習】 資料を読んでおく（15分） 【復習】 資料を基に振り返りを行う（15分）	振り返りシート
4) グループワーク 【予習】 グループワークの課題に関連した資料を集める（30分） 【復習】 グループワークの内容を振り返る（15分）	グループワーク
5) グループワーク（発表） 【予習】 前回の内容で分からないこと、不十分なことを調べておく（30分） 【復習】 グループワークの内容を振り返る（15分）	グループワーク
6) 看護職になるために今からできること(1) 卒業生の体験談 【予習】 資料を読んでおく（15分） 【復習】 課題に沿ってレポートを作成する（60分）	レポート
7) 看護職になるために今からできること(2) 看護部長の体験談を聞く 【予習】 資料を読んでおく（15分） 【復習】 課題に沿ってレポートを作成する（60分）	レポート
8) グループワーク：看護職になるために今からできること 【予習】 前2回分の振り返りをしておく（20分） 【復習】 課題に沿ってレポート作成（40分）	グループワーク
9) 自分の健康について考えよう（CMIテスト）（立川） 【予習】 自分の健康について考えておく（20分） 【復習】 テストについて調べる、振り返りを行う（20分）	振り返りシート
10) B型肝炎患者講義（外部講師） 【予習】 B型肝炎について調べる。肝臓の構造と機能を復習する。（60分） 【復習】 振り返りを行い、レポートにまとめる（60分）	レポート
11) グループワーク（テーマをもとにGWをおこなう） 【予習】 テーマについて資料を集め調べておく（30分） 【復習】 GWについての振り返りをする（15分）	グループワーク
12) グループワーク（発表） 【予習】 発表準備をする（30分） 【復習】 振り返りを行う（30分）	グループワーク グループワーク評価
13) 学生として身につけておくべきマナー（情報管理） 【予習】 前期で学んだマナーを確認しておく（15分） 【復習】 資料をもとに復習をする（15分）	振り返りシート
14) キャリアデザイン3 自分の实力を知ろう（模擬試験） 【予習】 人体の構造と機能の学習をしておく（60分） 【復習】 分からなかったことを再度学習する（60分）	模擬試験
15) 基礎ゼミナールのまとめ 今後の目標設定 【予習】 各自1年間を振り返っておく（30分） 【復習】 課題に沿ってレポート作成	最終レポート
授業外学習	
授業の前に配付資料に目をとおしておいてください。 提出物は原則として翌週の提出です。必ずその週に取り組んで下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料を配付する	看護学全ての科目に関連する

課題に対するフィードバック

提出物 b は全体でコメントする  
レポートはコメントをつけて返却する

備考

科目名	情報処理の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	堤 健人	関連する資格		

授業概要

コンピュータを用いた情報処理に焦点をあて、情報化社会におけるコンピュータの利用、活用についての考え方を学ぶとともに、Word、Excelなどの基本的な活用方法を身につける。また、情報の管理やインターネット等を利用する際のモラルや危険性などについて学ぶ。

到達目標

B1201y

1. 情報や情報処理についての基本概念・知識を修得する。
2. コンピュータの全体像を把握し、構成するハードウェアとソフトウェアの機能について説明することができる。
3. 高度情報通信社会について認識し、モラルやマナーに則った言動ができる。
4. 情報セキュリティの重要性を知り、適切な対策ができる。

成績評価方法

授業内レポート、学習に対する意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							90
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス（授業概要や授業計画、授業形態、評価についての確認）	
2) 情報セキュリティ 【予習】適切なパスワードについて調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
3) 情報とは 【予習】情報の定義を調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
4) コンピュータと情報社会 【予習】社会の情報化について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
5) アナログ情報とデジタル情報 【予習】アナログ情報とデジタル情報の違いについて調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
6) 二進数の世界 【予習】二進数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
7) コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】十六進数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
8) コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】コンピュータの扱う負の数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
9) コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】浮動小数点形式について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
10) コンピュータのハードウェアI 【予習】コンピュータの五大機能について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
11) コンピュータのハードウェア 【予習】保有するスマホやパソコンのCPUを調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
12) コンピュータのハードウェア 【予習】SI接頭語について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
13) コンピュータのハードウェア 【予習】インターネットに接続するための機器を調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
14) コンピュータのソフトウェア 【予習】頻繁に利用するアプリケーションと用途を挙げる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
15) プログラミング言語と言語処理システム 【予習】プログラミング言語について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
授業外学習	
各自が適した方法で復習し、授業での学習内容が定着するようにしましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて、資料等を配付する。テキストは指定しないが、参考図書を以下に示す。 参考図書：『基本を学ぶ コンピュータ概論（改訂2版）』安井浩之・木村誠聡・辻裕之（著）、オーム社、2019。	情報処理演習



課題に対するフィードバック

授業内レポートは、原則として次の授業の冒頭でフィードバックを行う。

備考

基本的に対面授業で実施するが、新型コロナウイルスの感染状況によってはオンデマンド形式に変更する場合もある。

科目名	情報処理演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	中田 充	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

健康情報管理の実践のための具体的技法を情報処理機器の活用を中心に学ぶ。また、プレゼンソフトを活用したプレゼンテーションの方法や、文書作成ソフト、表計算ソフトなどの活用について演習を通して学ぶ。

到達目標

B1202

ある対象を他者に分かりやすく工夫して説明することができること。  
 自己紹介や電子絵本・広報資料等の作成課題を通して、プレゼンテーションソフトの基本操作を習得できること。  
 成績表や医療データを処理する活動を通して、基本的な関数を中心とした表計算ソフトの基本操作を習得することができること。  
 レポート課題を通して、作図機能を用いて図を作成し、表計算ソフトでデータを分析・表現し、それらの図や表・グラフを活用して文書作成ソフトでレポートを書くことができること。

成績評価方法

毎回の授業時の課題作業や演習課題の作業点と最終課題により総合的に判断する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							15
グループワーク							
演習							25
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ・授業オリエンテーション（授業計画・授業評価）・架空の勤務先を対象にして1分間自己紹介に挑戦してみよう。【予習】シラバスを読む(15分)【復習】自己紹介ポイントを省察する(15分)	・自分を覚えてもらうための自己紹介の内容を考える。 ・自己紹介をプレゼンする。
2) ・プレゼンソフトの機能を理解しよう。・自己PRスライドを作成しよう。【予習】プレゼンソフトで「できること」を調べてみる(15分)【復習】自己PRスライドの修正点を考え具体化する(15分)	・自己PRの内容を考える。 ・自己PRを分かりやすく工夫して表現する。
3) ・電子絵本のストーリーを考えよう。【予習】(15分)電子絵本の内容を考えておく(15分)【復習】電子絵本の内容を文書作成ソフトでまとめる(30分)	・スライドショー形式の電子絵本の内容を考える。
4) ・プレゼンソフトを活用して電子絵本を作成しよう(その1)。 【予習】電子絵本のイメージを創っておく(15分) 【復習】次週すべき資料作成作業を具体化する(30分)	・閲覧者に響く言葉の使い方を考えてスライドで工夫して表現する。
5) ・プレゼンソフトを活用して電子絵本を作成しよう(その2)。 【予習】電子絵本のイメージを創っておく(15分) 【復習】次週すべき資料作成作業を具体化する(30分)	・アニメーション等を活用してより幅広い対象に伝わる表現を考える。
6) ・プレゼンソフトを活用して電子絵本を作成して、自分で評価しよう)。 【予習】電子絵本のイメージを創っておく(15分) 【復習】電子絵本を完成させる(30分)	・アニメーション等を活用して電子絵本を完成させる。・完成させた電子絵本を自己評価する。
7) ・展覧会を実施しよう。(その1) 【予習】アニメーションの付け方・誤字脱字等を確認して適宜修正しておく(30分) 【復習】他者の資料作成の良さをまとめておく(15分)	・アンケートフォームを作成して、相互評価の準備をする。
8) ・展覧会を実施しよう。(その2) 【予習】他者の作品の評価を終わらせる(30分)【復習】自己評価と他者評価の比較方法を確認しておく(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。
9) ・展覧会を実施しよう。(その3) 【予習】自分の作品に対する他者からの評価を確認しておく(15分)【復習】表やグラフを用いて分析結果を分かりやすくまとめる(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。
10) ・展覧会を実施しよう。(その4) 【予習】自分の作品に対する他者からの評価を確認しておく(15分)【復習】分析結果を文章にまとめる(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。・文書作成ソフトで分析結果をまとめる
11) ・展覧会を実施しよう。(その5) 【予習】自分の作品に対する他者からの評価を確認しておく(15分)【復習】分析結果のレポートを作成する(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。・文書作成ソフトで分析結果をまとめる
12) ・展覧会を実施しよう。(その6) 【予習】自分の作品に対する他者からの評価を確認しておく(15分)【復習】分析結果のレポートを完成する(30分)	・表計算ソフトを用いて評価結果を分析する。・文書作成ソフトで分析結果をまとめる
13) ・オープンデータの理法方法を身につけよう。(その1) 【予習】オープンデータについて調べておく(15分)【復習】オープンデータの定義、利用方法を確認する(30分)	・オープンデータをダウンロードする。・表計算ソフトを用いてオープンデータを加工・分析する。
14) ・オープンデータの理法方法を身につけよう。(その2) 【予習】オープンデータの活用方法について調べておく(15分)【復習】オープンデータの活用方法について確認する(30分)	・表計算ソフトを用いてオープンデータを加工・分析する。・オープンデータを各種サービスに利用する
15) ・オープンデータの理法方法を身につけよう。(その3) 【予習】オープンデータの活用事例について調べておく(15分)【復習】オープンデータの活用して自分の興味のある事例に関するレポートを作成する(30分)	・課題の回答を読み手に分かりやすく伝えるための文書作成ソフト等での表現方法を考える。
授業外学習	
授業時に授業外学習用の課題(課題解決や作品制作等)を提出する場合があります。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストや参考書は利用しません。必要に応じて、資料配布、Web情報を活用してもらいます。	インターネットの使い方

課題に対するフィードバック

予習課題については、疑問や分からないことを持って授業にのぞんでくれることを期待し、調べてきたこと・考えてきたこと、疑問や分からないことを授業のなかで適宜発表（ペア・グループでの発表含む）してもらおう。また、復習課題については、次の授業のはじめに前の授業の復習をする際に質問したり、改めて考えてもらおう。さらに、スキル習得の復習課題の際には、次の授業のはじめに対象スキルを利用した問題に取り組ませる。

備考

科目名	エッセンシャルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。  
総合的な英語運用能力の育成に焦点を当てた授業を展開する。その方法として、色々なタスクを通し、1)英文読解、2)英文法、3)リスニング、4)スピーキング、5)ライティングの指導を行う。  
この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで450点、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1203y  
・ TOEIC (Listening & Reading)テスト(公開又はIP)で450点以上のスコアをとる力を身に付けることができる。  
・ 読解力を向上させることができる。  
・ コミュニケーション能力を向上させることができる。

成績評価方法

定期試験(中間・期末) -----80%  
授業態度・授業参加度 -----20%  
で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) Chapter 1 Campus Life [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
2) Chapter 2 Weekends [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
3) Chapter 3 Japanese Culture [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
4) Chapter 4 Healthy Living [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
5) Chapter 5 Fashion [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
6) Chapter 6 Life Style [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
7) Chapter 7 Celebrations [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
8) Chapter 8 Travel [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
9) Chapter 9 Food [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
10) Chapter 10 The Environment [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
11) Chapter 11 Business [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
12) Chapter 12 The internet and social Media [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
13) Chapter 13 Sports [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
14) Chapter 14 A Barrier-free Society [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
15) Chapter 15 Modern Families [予習] Vocabulary Taskを行い、Reading部分を訳しておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
授業外学習	
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す予習および復習をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：Chat and Share! Topic Starters for Today's Students. Diane H. Nagatomo [2021年] 金星堂	アドバンストイングリッシュ ライセンスイングリッシュ

課題に対するフィードバック

Mini Testは翌週の授業の冒頭に答え合わせをする。

備考

TOEIC (Listening & Reading)テスト(公開又はIP)を受験し、規定のスコアに達すれば単位を認定する。

科目名	エッセンシャルイングリッシュ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	前期			
担当者名	内海 俊祐		関連する資格	養護教諭			
<b>授業概要</b> 対面で授業を行う。日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を修得する。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を育成する。また、この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEICの450点を、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。							
<b>到達目標</b> B1202 1 異文化を理解し、英語でコミュニケーションを図ることが出来る。 2 TOEICテスト(公開テストまたはIP)で550点以上のスコアをとる力を身に付ける。			<b>成績評価方法</b> 定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) TOEICの特徴についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 TOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前期間中に英語で口頭発表をしてもらう。
2) リスニング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 会話文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 説明文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 発表とディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) リーディング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 間違い指摘問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
Score Booster for the TOEIC L&R Test Biginner 早川幸治・岸洋一著 金星堂	アドバンストイングリッシュ

課題に対するフィードバック

提出された各課題はそれぞれ点数化し、総評を授業内で公表する。その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	アドバンストイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。  
 現代社会に関する情報を取り扱った英文を取り上げ、総合的な英語力を身に付けさせる授業を展開する。  
 その方法として：パラグラフ・リーディングの練習を行う。内容を把握する練習を行う。リスニングの練習を行う。  
 英作文の練習を行う。  
 この講義は学生の英語レベルにより初級、上級クラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで500点、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1204y  
 ・TOEIC(Listening & Reading)テストで500点以上のスコアをとる英語力を身に付けることが出来る。  
 ・英語の読解力を向上させることが出来る。  
 ・書く力を向上させることが出来る。  
 ・聞く力を向上させることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%  
 授業態度・授業参加度 ----20%  
 で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 Amazing Chocolates [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
3) Unit 2 Jokes [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
4) Unit 3 The First Money [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
5) Unit 4 White Noise [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
6) Unit 5 The Genius of Albert Einstein [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
7) Unit 6 Leonardo da Vinci [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
8) Unit 7 Taiwan -- Beware of Typhoons [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
9) Unit 8 Pie Chart: Better Subdays Through efficiency [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
10) Unit 9 Global Warming [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
11) Unit 10 Avoiding Cancer [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
12) Unit 11 Obesity [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
13) Unit 12 Democracy in the Modern World [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
14) Unit 13 Borrowing From a Living Library [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
15) Unit 14 The Importance of Language [予習] Warm-up Questions, VocabularyとReading Passageをやっておく。(60分) [復習] Mini Testを使って一章分を復習しておく。(30分)	Mini Test
授業外学習	
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す練習問題に解答しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト Success with Reading Book 1 -- Boost Your Reading Skills --. 2020年 池田 真生子、清水綾香(他) 成美堂	

課題に対するフィードバック

Mini Testは翌週の授業の冒頭に答え合わせをします。

備考

TOEIC TEST (Listening & Reading) を受験し、規定のスコアに達すれば、単位を認定する。

科目名	アドバンストイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格	養護教諭	

授業概要

対面で授業を行う。少子高齢化社会、環境問題、介護問題等グローバルな問題に関する英文を読み、自分の考えや意見をレポートにまとめる方を修得する。さらに、この講義においては、作成したレポートをもとにしてプレゼンテーションを行い、より高度で、実践的なコミュニケーション能力を育成する。この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEICの500点を、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1203

- TOEICテスト(公開テストまたはIP)で600点以上のスコアをとることができる。
- 異文化を理解し、英語でコミュニケーションを図ることができる。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) TOEICの特徴についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期間中にレポートを提出してもらおう。
2) リスニング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 会話文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 説明文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 発表とディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) リーディング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 間違い指摘問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
Score Booster for the TOEIC L&R Test Intermediate 番場直之・小山克明 著 金星堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。	

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。



科目名	オーラルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	ドワード N. ナットン	関連する資格		

授業概要

日常的なコミュニケーションの場においては、リスニングの力が重要な役割を果たしている。ビデオやテープ等の視聴覚資料等の活用により、英語の音に興味を持たせ、リスニング力の向上を図り、英語による発話意欲を刺激する。リスニング力と発話意欲を向上させることにより、コミュニケーションを円滑にしていく能力を育成する。具体的には、オフィスや地域社会及び海外旅行等に必要とされる英会話力を身に付けさせる。さらに、海外からの旅行者に英語を用いた口頭による日本文化や生活習慣の説明、観光案内を行う発信型の英会話力を身に付けさせる。(対面授業)

到達目標

B1205

- 知識・理解の観点 (具体的に説明できる。)
- 思考・判断の観点 (内容を要約できる。)
- 関心・意欲の観点 (考えを表現する。)
- 態度・価値観の観点 (討議に参加できる。)
- 技能・表現の観点 (相手に反応できる)

成績評価方法

STUDENTS ATTENDING THIS COURSE WILL BE EVALUATED ACCORDING TO THEIR CLASS PARTICIPATION, ATTENDANCE AND TEST RESULTS.  
〔授業態度・出席と試験結果に従って評価する。〕

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ORIENTATION AND SELF-INTRODUCTIONS. [オリエンテーションと自己紹介] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	CLASS OUTLINE AND PAIR WORK.
2) GREETINGS. [挨拶] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
3) WHERE ARE YOU FROM? [どこから来ましたか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
4) WHAT TIME IS IT? [何時ですか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
5) WHAT'S YOUR JOB? [あなたの仕事は何ですか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
6) RENTING A FLAT. [アパートを借りる] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
7) SHOPPING. [買い物] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
8) CAN YOU HELP ME? [手伝ってもらえますか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
9) AN AMERICAN RESTAURANT. [アメリカンレストラン] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
10) AT CUSTOMS. [税関で] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
11) MEDICAL PROBLEMS. [医療の問題] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
12) TALKING ABOUT THE FAMILY. [家族について話す] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
13) WHAT CAN YOU DO? [何ができますか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
14) HOLIDAYS. [休日] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
15) AT THE POST OFFICE. [郵便局で] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
授業外学習	
授業の予習復習をする。授業前に分からない単語を調べてくる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
STUDENTS WILL BE PROVIDED WITH HANDOUTS TO COVER ALL PLANNED TEACHING ACTIVITIES. STUDENTS ARE ASKED TO ENSURE THEY BRING ENGLISH /JAPANESE AND JAPANESE / ENGLISH DICTIONARIES TO CLASS. [学生はすべての計画された指導活動を学習するために教材（印刷物）を配布される。授業に英和・和英辞典を必ず持参することを求める。]	

課題に対するフィードバック

翌週の授業で質問応答。

備考

科目名	ライセンスイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

TOEIC等の試験の結果により単位を認定する。試験自学自習を通し、公的資格にチャレンジし、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

B1205

- 1 国際コミュニケーション協会が実施する「TOEIC（公開またはIP）試験」で450点以上のスコアを取ることができる。
- 2 財団法人日本英語検定協会が実施する「実用英語検定試験」で2級以上の公的資格を取ることができる。

成績評価方法

合格基準に達し、単位認定を希望する学生は、本学が指定する単位認定申込書に必要事項を記入し、合格証あるいは得点票を添えて、担当教員に提出する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (TOEICや実用英語検定試験等の受験に必要な学習内容を以下列挙する) 動詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
2) 前置詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
3) 文法(1)...関係代名詞及び関係副詞を学ぶ。	
4) 文法(2)...英語の時制を学ぶ。	
5) 文法(3)...仮定法を学ぶ。	
6) 文法(4)...分詞構文を学ぶ。	
7) リスニング(1)...写真を見て、正しい説明を聞き取る練習をする。	
8) リスニング(2)...対話を聞き、正しい応答を学ぶ。	
9) リスニング(3)...説明文を聞き、内容を把握する。	
10) 英文読解(1)...ボトムアップ方式で英文を把握する。	
11) 英文読解(2)...速読直解の練習をする。	
12) 英文読解(3)...スキミングの練習をする。	
13) 英文読解(4)...スキミングの練習をする。	
14) TOEICテストの模擬練習をする。	
15) 実用英語検定2級の模擬練習をする。	
授業外学習	
TOEICや実用英語検定試験等を受験する際、問題傾向に十分に慣れておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：本学の図書館にTOEICテストおよび実用英語検定試験受験のための説明書や問題集を多数取り揃えています。活用してください。	エッセンシャルイングリッシュ アドバンスイングリッシュ オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

備考

補習指導を行うので、申し出ること。

科目名	ライセンスイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

TOEIC等の試験の結果により単位を認定する。自学自習を通し、公的資格にチャレンジし、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

B1205

- 1 国際コミュニケーション協会が実施する「TOEIC（公開またはIP）試験」で450点以上のスコアを取ることができる。
- 2 財団法人日本英語検定協会が実施する「実用英語検定試験」で2級以上の公的資格を取ることができる。

成績評価方法

合格基準に達し、単位認定を希望する学生は、本学が指定する単位認定申込書に必要事項を記入し、合格証あるいは得点票を添えて、担当教員に提出する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (TOEICや実用英語検定試験等の受験に必要な学習内容を以下列挙する) 動詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
2) 前置詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
3) 文法(1)...関係代名詞及び関係副詞を学ぶ。	
4) 文法(2)...英語の時制を学ぶ。	
5) 文法(3)...仮定法を学ぶ。	
6) 文法(4)...分詞構文を学ぶ。	
7) リスニング(1)...写真を見て、正しい説明を聞き取る練習をする。	
8) リスニング(2)...対話を聞き、正しい応答を学ぶ。	
9) リスニング(3)...説明文を聞き、内容を把握する。	
10) 英文読解(1)...ボトムアップ方式で英文を把握する。	
11) 英文読解(2)...速読直解の練習をする。	
12) 英文読解(3)...スキミングの練習をする。	
13) 英文読解(4)...スキミングの練習をする。	
14) TOEICテストの模擬練習をする。	
15) 実用英語検定2級の模擬練習をする。	
授業外学習	
TOEICや実用英語検定試験等を受験する際、問題傾向に十分に慣れておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：本学の図書館にTOEICテストおよび実用英語検定試験受験のための説明書や問題集を多数取り揃えています。活用してください。	エッセンシャルイングリッシュ アドバンスイングリッシュ オーラルイングリッシュ



課題に対するフィードバック

備考

補習指導を行うので、申し出ること。

科目名	海外語学研修			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

海外英語研修に参加することにより単位を認定する。海外での研修や旅行あるいはインターンシップで必要とされる英語によるコミュニケーション能力を育成するために、夏季および春季の海外英語研修を実施する。研修先のセンターでは、英語母語者から週8時間以上の語学指導を受け、さらに、現地の文化および社会をよりよく知るために、スポーツへの参加、自然環境の視察およびフィールドトリップを行う。また、以上の内容の研修が円滑に行われるために、海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。

到達目標

B1206

- 1 異文化および自文化を理解することが出来る。
- 2 英語による実践的コミュニケーション能力を身に付ける。
- 3 異文化との共生への関心が高まる。

成績評価方法

事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート							30	
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習							50	

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。事前指導の内容は下記の通りである。</p> <p>1) 日本語と英語の比較</p> <p>2) 日本文化と欧米の比較</p> <p>3) 異文化体験の意義</p> <p>4) 海外から日本にEメールを送る</p> <p>5) 欧米事情</p> <p>6) 環境関連の英語</p> <p>7) 福祉関連の英語</p> <p>8) 9) 日本文化紹介のための英語 （日本人と閉鎖性 / 日本人と国際化 / 日本の特徴 / 日本についての情報の伝え方）</p> <p>10) 11) 12) 13) 海外生活のための英語 （日常会話の慣用表現 / 英会話のスピード / 生活習慣の差異 / 状況別の英語表現 / 英会話の注意点 / 英語のまま理解することについて）</p> <p>14) まとめとディスカッション</p> <p>15) 総括</p> <p>ガイダンスに臨む場合は時間をかけて各自準備をし、ガイダンス後は内容を振り返る時間を取る。</p>	グループワーク
授業外学習	
渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>毎回プリント類を配布する</p> <p>参考書：『日本を語る』、日鉄ヒューマンデベロプメント著、1995年、アルク</p>	オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を個別に伝える。

備考

この授業の単位は海外研修への参加を要件とする。

科目名	海外語学研修			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

海外英語研修に参加することにより単位を認定する。海外での研修や旅行あるいはインターンシップで必要とされる英語によるコミュニケーション能力を育成するために、夏季および春季の海外英語研修を実施する。研修先のセンターでは、英語母語者から週8時間以上の語学指導を受け、さらに、現地の文化および社会をよりよく知るために、スポーツへの参加、自然環境の視察およびフィールドトリップを行う。また、以上の内容の研修が円滑に行われるために、海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。

到達目標

B1206

- 1 異文化および自文化を理解することが出来る。
- 2 英語による実践的コミュニケーション能力を身に付ける。
- 3 異文化との共生への関心が高まる。

成績評価方法

事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。事前指導の内容は下記の通りである。</p> <p>1) 日本語と英語の比較</p> <p>2) 日本文化と欧米の比較</p> <p>3) 異文化体験の意義</p> <p>4) 海外から日本にEメールを送る</p> <p>5) 欧米事情</p> <p>6) 環境関連の英語</p> <p>7) 福祉関連の英語</p> <p>8) 9) 日本文化紹介のための英語 （日本人と閉鎖性 / 日本人と国際化 / 日本の特徴 / 日本についての情報の伝え方）</p> <p>10) 11) 12) 13) 海外生活のための英語 （日常会話の慣用表現 / 英会話のスピード / 生活習慣の差異 / 状況別の英語表現 / 英会話の注意点 / 英語のまま理解することについて）</p> <p>14) まとめとディスカッション</p> <p>15) 総括</p> <p>ガイダンスに臨む場合は時間をかけて各自準備をし、ガイダンス後は内容を振り返る時間を取る。</p>	<p>グループワーク</p>
授業外学習	
<p>渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>毎回プリント類を配布する 参考書：『日本を語る』、日鉄ヒューマンデベロプメント著、1995年、アルク</p>	<p>オーラルイングリッシュ</p>

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を個別に伝える。

備考

この授業の単位は海外研修への参加を要件とする。

科目名	社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	瀬崎 譲廣	関連する資格		

授業概要

「人は一人では生きていけない」 このテーマは、文学作品や音楽などあらゆる表現媒体において古くから扱われてきたが、それは人文科学・社会科学と分類される諸学問の究極のテーマでもある。社会学という学問は、社会的な生物である人間の「社会的な」という部分にフォーカスを合わせ、人間（たち）を観察し、分析し、人間社会における法則性を発見しようという学問と言える。この授業では、社会学という学問が生まれるにいたった背景から話をはじめ、学生皆さんの多くが共通に経験した、またこれから経験するであろう社会について概説する。また、現代社会の問題について、社会学の観点からの指摘を紹介する。これによって、「社会学的なものの方」を理解することを授業の目的とした。

到達目標

B1210  
社会学についての基本的な知識や、考え方の特徴を理解する  
社会学の観点から、現代社会が抱える諸課題について理解する

成績評価方法

講義中に課す宿題や小レポート等、および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴	グループワーク
2) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）	
3) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）	
4) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
5) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
6) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
7) 社会学の調査方法 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
8) 社会化の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
9) 学校の社会学 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
10) 産業社会と組織の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
11) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
12) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
13) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	
14) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
15) 授業全体のまとめ	
授業外学習	
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業中に配布する資料を用いて授業を進める。 教科書は指定しない。 参考書は授業中に適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。

備考

授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	ボランティアと社会			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	白石 義孝、伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

ボランティアの意義と実情について学び、現代社会におけるボランタリーセクターの重要性について理解することを目的とする。  
 ボランティアの思想や歴史的経緯、様々な活動の実態など、基礎的な知識について概説するとともに、現代社会の状況について解説し、ボランティア活動への注目の高まり、またその行為に参加しようとするものの存在の背景を考察する。活動の実際を知ってもらうために、実際の活動を行っている方から直接話を聞く機会も設けたい。

到達目標

B1501

- ・ ボランティアについての正確な理解
- ・ ボランタリーセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚
- ・ ボランティア活動への参加

成績評価方法

定期試験・小テスト（レポートの場合あり）  
 リサーチ課題  
 ボランティア活動体験レポート

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習							30	

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤・白石）対面 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
2) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤）対面 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
3) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤）対面 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
4) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤）対面 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
5) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤）対面 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
6) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
7) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
8) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
9) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
10) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石）対面+遠隔 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
11) パート3（参加編）対面+遠隔 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
12) パート3（参加編）対面+遠隔 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
13) パート3（参加編）対面+遠隔 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
14) パート3（参加編）対面+遠隔 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
15) 総括（伊藤・白石）対面 予習：授業中に紹介した課題について事前調査する（120分） 復習：期末レポート作成（180分）遠隔	個人ワークによる全体の振り返り
授業外学習	
<p>毎回の授業で紹介したキーワードを自筆でノートにまとめておく。</p> <p>ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。（担当者の許可を得るなど）</p> <p>グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること</p> <p>Covid19の感染拡大により、ボランティア実習に参加できなくなった学生には「実習救済レポート」を課す</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト</p> <p>「テキスト市民活動論【第2版】」大阪ボランティア協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアに関する書籍・学術雑誌全般</li> <li>・ NPOに関する書籍・学術雑誌全般</li> </ul> <p>その他、特に推奨する参考文献については講義中で適宜紹介する。</p>	<p>教職に関する科目、社会学に関する科目</p>

課題に対するフィードバック

実習先での活動内容やレポート作成に関する指導を全体に対して行うとともに、個別の質問については、授業後またはメールにて対応する。

備考

- 各回の授業の構成は、基本講義と実習指導、および課題レポート作成の3つのパートからなる
- ・ 毎回パート1とパート2の基本講義を60分程度（伊藤が担当）
  - ・ 引き続きパート2とパート3の実習指導と課題レポート作成について30分程度（白石が担当）

科目名	憲法・人権論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）および統治機構（国会、内閣、裁判所）について修得する。

到達目標

B1103y

- 立憲主義の意義を理解する。
- 主要な人権の内容を理解する。
- 統治機構の概要を理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							65
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 憲法と国家＜国家の三要素＞ 【予習】国家の3要素とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 立憲主義の意義 ＜憲法とは何か＞ 【予習】憲法という言葉を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 立憲主義の意義 ＜人権の種類と内容＞ 【予習】人権の種類とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 法の下の平等 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 法の下の平等 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
8) 精神的自由権 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
9) 精神的自由権 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 経済的自由と社会権 【予習】テキストTheme10および11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 裁判制度 【予習】テキストTheme19を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 裁判制度 【予習】テキストTheme19（特に裁判員裁判）を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
14) 参政権と国会・内閣 【予習】テキストTheme16，17および18を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
15) 憲法保障＜違憲審査制＞ 【予習】テキストTheme20を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用します。また、事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕』（有斐閣、2020年）。その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。	法学

課題に対するフィードバック

小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。

備考



科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二	関連する資格		

授業概要

社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などの基礎知識について概説する。  
 法を初めて学ぶ者のために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）から実例を挙げながら、法の基本的な原理・原則および構造ならびに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を概説する。

到達目標

B1104

社会生活における法の作用や役割を理解する。  
 相談援助活動と法の関わりを理解する。  
 民法等の基礎的な解釈・適用能力を身につける。  
 権利擁護の仕組みについて理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							67	
小テスト、授業内レポート							28	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							5	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 法学の学習方法および六法の使い方を説明する。法令の構成等について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に試してみる。
2) 近代市民社会の法の原理および構造ならびに近代憲法の意義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3) 犯罪と法(1) 刑の種類・内容、刑の適用および刑の執行等について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4) 犯罪と法(2) 犯罪の成立要件について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5) 犯罪と法(3) 罪刑法定主義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6) 犯罪と法(4) 刑事手続の概要について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7) 物の人への帰属に関する法(1) 法律行為について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8) 物の人への帰属に関する法(2) 契約自由の原則とその限界について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9) 物の人への帰属に関する法(3) 契約自由の原則とその限界について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10) 物の人への帰属に関する法(4) 時効制度および除斥期間について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11) 人に関する法と物に関する法について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12) 司法制度 裁判制度および裁判外紛争解決制度（ADR）について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13) 制定法の種類 各種制定法の意義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14) 制定法の効力 種制定法間の効力関係および制定法の適用範囲について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15) 制定法の解釈 制定法の解釈方法論および解釈技術について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『ポケット六法令和4年版』（有斐閣、2021年）。 テキストは用いませんが、六法は学習に必要です。受講にあたっては、『ポケット六法令和4年版』（有斐閣、2021年）を持参してください。第1回目の授業から使用します。	憲法・人権論

課題に対するフィードバック

小テストについて実施当日または次回の授業で解説する。

備考

科目名	地域文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	内田 鉄平	関連する資格		

授業概要

総論では「文化とは何か」について述べた上で、比較文化論的な視点から日本文化の大づかみな特徴を述べる。各論では、山口県及び宇部市の文化をはじめとする日本の文化のさまざまな側面をとりあげて、文化との関連で日本社会の構造的な特性を理解してもらうようにする。

到達目標

B1502  
日本独自の文化について理解する。山口県及び宇部市の地域文化について理解する。

成績評価方法

期末試験と講義の参加意欲で評価する

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							70	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							30	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	地域文化論（宇部市を中心に）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
2)	食文化 和食の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
3)	出帆文化の隆盛 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
4)	道具と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
5)	居住空間-竪穴住居から文化住宅まで 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
6)	文化を伝える-山口県の方言 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
7)	祭礼と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
8)	北浦の捕鯨と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
9)	芸能文化と山口県 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
10)	地域産業と文化の伝播 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
11)	宇部市の発展と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
12)	彫刻のまち宇部の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
13)	宇部市の文化財 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
14)	宇部村から宇部市へ-石炭産業と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
15)	総論（講義全体を通して学生の理解度を考慮して適宜に補足説明を行う）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	講義全体の総括として質問を受ける。
授業外学習		
講義で適宜に参考文献を紹介しますので、余暇の時間に余裕があれば読んでもらう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
毎回プリントを配布します。		

課題に対するフィードバック

希望者がいれば、期末試験の成績を開示します。

備考

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	山本 芳実	関連する資格		

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになってきている。本講義では、一般教養レベルの生物学の基礎的理解のために、生体の持つ機能や遺伝の仕組み、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について習得する。

到達目標

B1211

- 1、生物学における基礎的な知識を列挙できる。
- 2、様々な生命科学に関する事象を生物学の視点から考える事ができる。

成績評価方法

期末定期試験、授業内レポート、授業外レポート、授業への意欲・態度も考慮する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 細胞 「予習」細胞に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください。小レポート作成（60分）	授業内レポート課題
2) 代謝とエネルギー代謝 「予習」代謝とエネルギー代謝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
3) 細胞分裂と多細胞生物 「予習」細胞分裂と多細胞生物に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
4) 減数分裂と遺伝 「予習」減数分裂と遺伝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習し、てください（60分）	
5) 遺伝と遺伝子 「予習」遺伝と遺伝子に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	グループワーク
6) 染色体と二重らせん 「予習」染色体と二重らせんに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
7) タンパク質と遺伝 「予習」タンパク質と遺伝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
8) 遺伝子のはたらき 「予習」遺伝子のはたらきに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習し、てください（60分）	
9) 組換えDNA技術とバイオテクノロジー 「予習」組換えDNA技術とバイオテクノロジーに関して予習する（30分） 「復習」小レポート作成（60分）	授業外レポート課題
10) ゲノム科学とゲノムプロジェクト 「予習」ゲノム科学とゲノムプロジェクトに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
11) 受精と発生 「予習」受精と発生に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
12) 発生のしくみ 「予習」発生のしくみに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
13) 系統分類学 「予習」系統分類学に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
14) 進化生物学 「予習」進化生物学に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習し、てください（60分）	
15) ヒトの進化 「予習」ヒトの進化に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
授業外学習	
授業前に、講義ファイルのコピーを渡しますので、教科書等を参考にしながら復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「生物学」系統看護学講座、基礎分野、高畑、増田、北田共著、医学書院	



課題に対するフィードバック

小レポートは翌週にコメントします。

備考

科目名	化学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	後期			
担当者名	村田 智昭		関連する資格				
<b>授業概要</b> 本講義は対面式で実施予定です。 看護師や保健師として将来活躍するためには国家試験に合格しないとけません。厚生労働省のホームページに公開されている国家試験問題もチェックしつつ、看護師が理解しておくべき内容、並びに医学に必要と思われる部分を中心に講義を行います。東京医科歯科大学の先生が書いた系統看護学講座・化学を教科書にします。講義期間中は、教科書目次に沿った進行を予定しています。高等学校・化学基礎を元に大学としての化学があります。講義開始までの間、並びに講義期間中も高校化学を復習しておいてください。 期末試験の出題範囲は、講義内容並びに教科書となります。加えて、毎回、講義中に口頭試問を実施し、成績の対象とします。							
<b>到達目標</b> B1212 化学の基礎的知識を説明できる 無機化合物の特性を説明できる 有機化合物の特性を説明できる ヒトの構成成分と反応系、疾病状態を化学的に理解し、臨床に応用する能力を身につける			<b>成績評価方法</b> 十分な出席回数を基に、期末試験並びに講義各回における口頭試問で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 身のまわりの化学 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
2) 化学の単位（量と単位、元素の周期表） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
3) 物質の三態（物質の三態、状態の変化、分子間力と融点・沸点、圧力と大気圧、状態図） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
4) 気体の性質（気体の状態方程式、混合気体と分圧の法則、気体の液体への溶解、実在気体の状態方程式） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
5) 液体・溶液の性質（溶液の濃度、溶液の性質、表面張力と界面活性剤、コロイド） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
6) 化学反応（化学反応の基本法則と種類、熱化学反応、光化学反応、酸化還元反応） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
7) 反応速度（反応速度のあらわし方、反応次数、活性化エネルギーと触媒、反応機構） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
8) 化学平衡（化学平衡、酸と塩基、中和反応と塩の生成、電離平衡と電離定数、塩の水への溶解、中和滴定と滴定曲線、難溶性塩の溶解平衡） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
9) 原子の構造と化学結合（原子の構造、化学結合、原子・分子の結合と分子の形、吸収スペクトル） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
10) 無機化学（無機物質、非金属元素、典型金属元素、遷移元素、放射性元素） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
11) 有機化学（脂肪族炭化水素、芳香族炭化水素） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
12) 有機化学（官能基と有機化合物） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
13) 高分子化学（糖質、脂質） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
14) 高分子化学（アミノ酸、ペプチド、タンパク質、核酸） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
15) まとめ。演習。（疑問点がないか事前に考える。復習は1時間以上）	授業内課題 ゼミナール問題
授業外学習	
授業計画に沿って、講義を進めていきます。授業中、毎回口頭試問があります。教科書だけでなく、講義資料、参考書等を利用し、最低限の予習として教科書の対象範囲を読み（30分程度）、そして復習（30分程度）して下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 基礎分野 化学 医学書院  (2018年度版 あるいは最新版)	栄養学（生化学を含む）、生理学、薬理学、薬剤学など

課題に対するフィードバック

各人が授業内課題で示した疑問点は、次回の講義開始時に学生の解答案の提示（宿題）及び解説することで活用します。

備考

インターネットで、NHK高校講座の「化学基礎」を視聴できます。解説動画等ありますので、高校の復習に利用してはいかがでしょうか？

科目名	物理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業（ズームを使った双方向型授業）に切り替える場合もあります。なお、どちらの形態の授業でも、Classroomを使って資料の配布、及び出席確認のため、各回の課題提出を求めます。必ず、提出してください。

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。

物理学ではオートクレープのメカニズム、点滴・輸血時の液体の比重など看護の現場で必要となる様々な事例を取り上げて物理学の理解を深め、科学的なものの考え方を身につける。

また、看護師の国家試験に出題されている物理系の問題について紹介。授業では、「物体の運動」、「運動量と仕事」、「熱と気体の運動」など物理学の基本を復習しながら「患者の移動」、「比熱の計算」、「血圧」などについて学ぶ。グループ討議を設定している。自分の意見を主張して積極的に参加する。

到達目標

B1213  
看護の現場で物理的なメカニズムを的確につかんで行動する。看護師国家試験の物理系の問題を解く。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○				10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 物理学の概要 予習；物理学資料の全般を概観する（30分）。復習；今後受講する内容の確認をする（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 2011.3.11福島原発事故特別バージョン・放射線 予習；放射線について基本的な事項を調べておく（30分）。復習；福島事故の要点を整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 物体の運動、患者の移動、トルク、作用反作用・摩擦・運動量・仕事・衝撃力・骨折・牽引 予習；トルクのことについて事前に調べておく（30分）。復習；運動の三法則について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議の結果、生じた疑問点の解決に使ってください（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 熱と気体の運動、比熱計算、氷枕、熱移動 予習；熱の移動について事前に学習しておいてください（30分）。復習；熱量の計算式を理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 圧力、表面張力、密度、比重 予習；圧力の全般を学習しておくこと（30分）。復習；様々な圧力の問題について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 血圧、吸引装置、酸素ポンプ、連結ピン 予習；血圧と酸素ポンプについて事前に学習しておくこと（30分）。復習；酸素ポンプに関する計算を理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 要点整理（グループ討議とレポート1提出準備） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決とレポート作成に使ってください。（1時間）	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 比重計、オートクレーブ、水銀体温計、濃度の表し方と物質の溶け方 予習；濃度計算について事前学習しておくこと（30分）。復習；オートクレーブの役割と濃度計算をマスターしておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 熱力学、音波、浸透圧、人工透析、心拍数、サイレン 予習；救急車のサイレンと位置関係を事前に調べておくこと（30分）。復習；浸透圧について理解を深めること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) ファイバースコープ、サーモグラフィ、電気 予習；ファイバースコープについて事前に調べておくこと（30分）。復習；電気メスのメカニズムについて理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決のために有効に使う（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 看護師国家試験の物理系問題の出題例 予習；過去の国家試験の問題を概観しておくこと（30分）。復習；計算問題のパターンをつかむこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決に有効に使う（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してきてください。 講義資料を復習して下さい。看護実習の時に、物理学で学んだことを活かしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	物理学の基礎

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	地球の環境			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業（ズームを使った双方向型授業）に切り替える場合もあります。なお、どちらの形態の授業でも、Classroomを使って資料の配布、及び出席確認のため、各回の課題提出を求めます。必ず、提出してください。

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

到達目標

B1214  
自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。  
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート	○	○					30	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度			○		○		20	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消失と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信	関連する資格		

授業概要

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下の二点を支軸にして講義を展開する。

- (1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。
- (2) ものごとを広く（多面的に）深く（根源的に）考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

B1215

- (1) 哲学の根本問題について考えてみる。
- (2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト（pp. 1-2）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
2) 人間と哲学(1)： 知・行・信 【予習】テキスト（p. 3）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
3) 人間と哲学(2)： 知・行・信と人間 【予習】テキスト（p. 4）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
4) 理性の運命(1)： 自覚 【予習】テキスト（pp. 5-6）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
5) 理性の運命(2)： 自覚と形而上学 【予習】テキスト（p. 7）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
6) 哲学の方法(1)： 超越論的論理学 【予習】テキスト（p. 8）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
7) 哲学の方法(2)： 超越論的演繹 【予習】テキスト（pp. 9-10）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
8) 哲学の方法(3)： コペルニクスの転回 【予習】テキスト（p. 11）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
9) 哲学の対象(1)： 現象と物自体 【予習】テキスト（p. 12）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
10) 哲学の対象(2)： 自由の可能性 【予習】テキスト（pp. 13-14）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
11) 哲学の対象(3)： 道徳の可能性 【予習】テキスト（p. 15）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
12) 歴史と人間(1)： 人間の使命 【予習】テキスト（p. 16）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
13) 歴史と人間(2)： 精神の自由 【予習】テキスト（pp. 17-18）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
14) 世界と人間： 永遠平和の可能性 【予習】テキスト（p. 19）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
15) 総括： 講義全体のまとめ 【予習】テキスト（p. 20）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
授業外学習	
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読（予習）・再読（復習）する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： カント『啓蒙とは何か 他四篇』（岩波文庫）、岩波書店、1974年（改訳）	人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック

テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。

備考

期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	日本語の実践			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面で実施する。  
 本授業は、社会で通用する日本語コミュニケーション能力をはじめ、文章作成能力を育成することを目的とする。敬語や俗語、文のねじれなどの表現の技術に加えて、手紙や報告書、ビジネス文書、論文といったさまざまな文体を実践的に習得する。授業では、悪文の例や敬語の添削問題など、表現に関する練習問題も数多く取り入れ、同時に論理的な文章の書き方も繰り返し訓練する。

到達目標

B1208  
 日常生活で使用する文体から大学生活の中で必要な論文の文体まで自由に使い分けられるようになる。

成績評価方法

出・欠席、授業態度・参加度の評価、授業時間内・外の小レポートの成績の総和による。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入：シラバス，日本語表現法とは？ 【復習】日本語表現法について確認する（30分）	
2) 知識(1)：表記，語 【予習】表記や語の種類について考えておく（30分） 【復習】豊潤な表記法などを振り返る（60分）	
3) 知識(2)：文，定型表現 【予習】慣用表現などについて考えておく（30分） 【復習】文の構造などを振り返る（60分）	
4) 知識(3)：引用などに関する注意 【復習】著作権について再確認する（60分）	
5) 演習(1)：要約，メモ 【予習】要約について見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
6) 演習(2)：メール，手紙 【予習】自分のメールを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
7) 演習(3)：ポスター，メニュー 【予習】ポスターを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
8) 演習(4)：ポスター，メニュー 【予習】メニューを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
9) 演習(5)：宣伝文句，CM，小説 【予習】宣伝文句やCMを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
10) 演習(6)：宣伝文句，CM，小説 【予習】小説を見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
11) 演習(7)：自己紹介・アピール，就活文書(ES) 【予習】自己紹介について考えておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
12) 演習(8)：自己紹介・アピール，就活文書(ES) 【予習】就活について確認しておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
13) 演習(9)：レポート，論文 【予習】論理的な文章について考えておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
14) 演習(10)：レポート，論文 【予習】レポートや論文について考えておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
15) 総括 【復習】授業内容を総合的に振り返る（30分）	
授業外学習	
*合計10回，授業時に提示した課題に対し，小レポートを作成する。小レポートは，次の授業の開始時に提出する。詳細は授業の際に説明する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストはなし。代わりに，プリントを配付する。参考書等は授業の際に適宜挙げる。	

課題に対するフィードバック

小レポートは、チェック及び評価をし、次回の授業時に返却する。誤り等の指摘がある場合には、修正をしてほしい。

備考



科目名	文学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藤原 まみ	関連する資格		

授業概要

遠隔で行います。  
日本近代文学の中からいくつか作品を取り上げ、その魅力を味わうとともに、文学作品としての価値について考える。また、文学作品を通じて、人の人生や生き方、考え方などを学び、豊かな感性を磨く。

到達目標

B1216

1. 「文学作品を読む」ということを理解する。
2. 課題作品について、自身の意見を持ち、それを表現することができる。
3. 他者の意見に耳を傾けることができる。
4. 他者の意見を盗用しない。
5. 世界の多様性について関心を持つ。
6. 授業の前に、必ず、課題作品を読む。
7. 他国の文学に関心を持つことによって、日本語文学への理解を深めることができる。

成績評価方法

- 最終課題論文 (40%)
- 課題提出 (30%)
- 授業における発言 (30%)

指定された期限までに提出しなかった課題は評価の対象外。  
指定された課題図書を必ず読んで出席すること。  
読んでいない場合は欠席相当と判断する。  
指名された者は、先に他者が言ったことを繰り返さず、自身の言葉で自身の意見を述べること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 必ず、教科書を持参して、出席してください。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	
2) 死なない蛸 萩原朔太郎	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
3) ひきこもり名言集 フランツ・カフカ	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
4) 桃太郎	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
5) 凍った時間 星新一	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
6) 赤い死の仮面 E・A・ポー	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
7) 病床生活からの一発見 萩原朔太郎	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
8) フランケンシュタインの方程式 梶尾真治	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
9) 屋根裏の法学士 宇野浩二	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
10) 私の女の実 ハン・ガン	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
11) 静かな水のほとりで R・シェクリイ	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
12) スロー・ダウン 萩尾望都	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
13) ひきこもらなかったせいで、ひどいめにあう話 頭木弘樹	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
14) 馬の脚 芥川龍之介	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
15) 変身 フランツ・カフカ	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業の前に、必ず、次回の課題図書を読んでおいてください。授業では、まず、10分程度で250字程度にまとめた自分の意見を提出してもらい、それを元にグループディスカッションをおこないます。意見をまとめられない場合、授業に積極的に参加することができないので、忘れずに課題図書を読んで準備してください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『ひきこもり図書館 部屋から出られない人のための12の物語』毎日新聞出版, ISBN 978-4620326658	

課題に対するフィードバック

適宜、学生の求めに応じることとする。

備考

科目名	心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	森本 裕子	関連する資格		

授業概要

看護・保健領域の専門職として働くにあたり、臨床現場で役立つであろう知識を中心に、心理学（基礎心理学・応用心理学）の基礎的知識について学ぶ。

到達目標

B1105

1. 看護・保健領域で、心理学の知見を活かし、専門的関わりの質を高める工夫をすることができる。
2. 心理学的知見を活かした援助を行う方法を理解できる。

成績評価方法

予習ノート、小テスト、受講態度で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) ガイダンス、心理学とはどのようなものか 【予習】心理学とはどのようなものかを考えてくる（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
2) 学習 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
3) 学習 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
4) 感覚・知覚 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
5) 注意 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
6) 認知 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
7) 記憶 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
8) 思考・知能 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
9) 動機・欲求・情動 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
10) 発達 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
11) 発達 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
12) ストレスマネジメント・パーソナリティ 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
13) 集団と社会 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
14) 文化 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
15) 進化 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容について質問や意見を考えてくる（30分）		小テスト
授業外学習		
<p>事前に次の授業の内容を自分なりに考えてくる予習課題を課しますので、必ず授業前に記入の上、参加してください。また、講義の終わりに、その講義のふりかえるため、講義のポイントテーマとした小テストを行います。最後に、授業を受けた上での質問や意見を提出してもらいます。予習ノート、小テストを中心に復習をくり返すことにより、知識の定着を図って下さい。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】レジュメを配布します。		コミュニケーション論

課題に対するフィードバック

質問・意見に対してフィードバックを行います。

備考

科目名	健康と音楽			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	村上 玲子	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。人間は、声を出して歌う、リズムカルに動く、身体の様々な部所を使って音を出すことや表現することが可能で、非常に音楽的な存在である。音楽は人の心や身体と密接に結びつき、特に音楽を聴く、演奏する、楽しむ活動では、病める心を癒し、身体や精神機能の健康を維持・回復するといった力がある。人がなぜ歌ったり奏でたりするのか、音や音楽が人間にもたらす影響について理解する。また、日常生活の中で音楽を上手く使うことによって、健康を取り戻したり、維持する方法を実際に音楽活動を実践しながら修得する。

到達目標

B1218

人間と音楽のかかわりについて説明できる。  
音や音楽の特性や役割について列挙することができる。  
生活の中で健康増進や維持を目的とした音楽の活用法を工夫し実践できる。

成績評価方法

授業時の小レポートと課題レポート  
授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート			○				20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 人間の健康と音楽の関わり 【予習】生活の中で、音楽とどのように関わっているかについて調べておく（30分） 【復習】人間の生活に音楽が深くかかわっている事例をまとめる（20分）	授業内レポート
2) 心の健康と音楽の役割及び特性、音楽がもたらす不思議な効果とは、音楽が心身を癒すメカニズム 【予習】身の回りで使われている音楽の事例を調べておく（30分） 【復習】音楽の特性をまとめておく（20分）	授業内レポート
3) ストレスと音楽 クラシック音楽とヒーリングミュージック 【予習】ストレスについて調べる（30分） 【復習】音楽を使ったストレス解消法の事例をまとめておく（20分）	授業内レポート
4) 音楽療法とは 音楽療法の歴史・目的・適応範囲・実践 【予習】音楽療法について調べる（30分） 【復習】配布プリントを復習する（20分）	授業内レポート
5) 宮沢賢治作「セロ弾きのゴーシュ」と音楽療法 音楽療法の視点から作品分析 【予習】音楽療法について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
6) 音楽療法とオーラルフレイル（口腔機能の低下）について 【予習】オーラルフレイルについて調べる（30分） 【復習】例曲を使って歌唱活動を実践してみる（30分）	授業内レポート
7) ジブリがいっぱい 宮崎アニメと共に歩んだ久石譲の音楽の世界 【予習】宮崎駿、久石譲について調べる（30分） 【復習】鑑賞曲の感想レポート作成（20分）	授業内レポート
8) クラシック音楽がつくる快適な人生 生活に密着した音楽、動物たちが奏でるクラシック音楽 【予習】スーラシアン音楽について調べる（30分） 【復習】鑑賞曲の感想レポート作成（20分）	授業内レポート
9) 世界を魅了する魂のピアニスト フジコ・ヘミングの時間 【予習】ピアニスト「フジコ・ヘミング」について調べる（30分） 【復習】感想レポート作成（60分）	授業外レポート
10) ミュージカル鑑賞 ミュージカル鑑賞から音楽の効力を探る 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】感想レポートの作成（20分）	授業内レポート
11) ミュージカル鑑賞 ミュージカル鑑賞から音楽の効力を探る 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
12) 音楽と人間の生活 クリスマスと音楽「クリスマス音楽に触れて」 【予習】人間の生活と音楽の関わりについて配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート（20分）	授業内レポート
13) 盲目のピアニスト辻井伸行と音楽 辻井伸行の世界と音楽表現 【予習】ピアニスト辻井伸行について調べる（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
14) オペラ鑑賞 人間の表現と音楽 音楽の力について 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】感想レポート作成（20分）	授業内レポート
15) オペラ鑑賞 人間の表現と音楽 音楽の力について 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは利用しない。講義資料を配布する。</p> <p>参考書＊渡辺 茂夫著、音楽健康法、1995年、誠文堂新光社＊          芋坂良二編著、新訂環境音楽、1992年、大日本図書＊村井靖児著、          こころに効く音楽、1997年、保健同人社＊谷口高士著、音は心の中で音楽になる、2000年、北大路書房</p>	



課題に対するフィードバック

授業内及び授業外で出した小レポート課題については、翌週にコメントを付けて返却する。

備考

科目名	健康スポーツ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実技	選択	2	1年	後期
担当者名	角田 憲治	関連する資格	養護教諭	

授業概要

運動遊びやゲーム、スポーツ等の実践を通して、その楽しみ方やルール・マナーを身につける。グループでの関係性を深め、社会生活の様々な場面で適用できる心身の健康づくりの運動方法や知識・技能を養う。

到達目標

B1219y

到達目標

生活習慣病予防、介護予防、メンタルヘルスにおける運動の重要性について理解している。運動に対し自立し、自ら進んで取り組むことができる。

成績評価方法

期末試験、授業態度、グループワークにより総合的に評価する。

成績評価方法

定期試験 知識・理解 (50)

授業態度・授業参加度 関心・意欲 (20) 技能・表現 (10) 態度 (10)

グループワーク 関心・意欲 (5) 態度 (5)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義 オリエンテーション、肥満と運動 肥満・減量に対する運動・スポーツの効果について解説する。	エネルギー消費量の計算を通して、運動と食事のバランスを考える。
2) 実技 アルティメット フリスビーを用いたアメリカンフットボールの会場設営・実施の方法を学ぶ。	アルティメットを通して、スポーツが心身へ与える効果を体感する。
3) 講義 生活習慣病と運動 運動が生活習慣病の予防に果たす役割を学ぶ。	自身の身体活動量の把握と、基準値との比較を行う。
4) 実技 ミニサッカー 簡易ゴール、ミニコートを用いたサッカーの会場設営・実施の方法を学ぶ。	ミニサッカーを通して、スポーツの効果を体感する。
5) 講義 加齢と運動 加齢に伴う身体・認知機能の低下について学ぶ。運動が身体・認知機能に与える効果についても学ぶ。	簡易認知機能テストの体験を行う。
6) 実技 ミニサッカー ゲームを行う中で、ルール、チームプレイを学ぶ。	ミニサッカーを通して、スポーツが心身へ与える効果を体感する。
7) 講義 こころの健康と運動 脳の働きと気分や精神疾患に及ぼす運動の効果について学ぶ。	自身のストレス度の把握と、基準値との比較を行う。
8) 実技 ミニサッカー ゲームを中心に行う。パスワークに気を配った作戦をチームで立てられるようになる。	ミニサッカーを通して、スポーツの効果を体感する。
9) 講義 睡眠と運動 健康のための睡眠の役割や睡眠に及ぼす運動の効果について学ぶ。	自身の不眠度の把握と、基準値との比較を行う。
10) 実技 タグラグビー 身体的接触を禁止した安全性の高いラグビーの会場設営・実施の方法を学ぶ。	タグラグビーを通して、スポーツの効果を体感する。
11) 講義 障害者と運動 障害者スポーツの歴史的変遷、心身への効果、現在の課題について学習する。	障害者スポーツの普及方法を考える。
12) 実技 タグラグビー ゲームを行う中で、ルール、チームプレイの方法を確認する。	タグラグビーを通して、スポーツの効果を体感する。
13) 講義 社会的格差と健康格差 教育格差や経済格差がヒトの健康や寿命に与える影響について学ぶ。	健康格差の縮小について考える。
14) 実技 タグラグビー ゲームを中心に行う。パスワークに気を配った作戦をチームで立てられるようになる。	タグラグビーを通して、スポーツの効果を体感する。
15) 講義 まとめ 授業の振り返りと総括を行う。	自身および社会が取るべき健康に対する行動のありようについて考察する。
授業外学習	
健康に関する記事、ニュースを注視する。 授業内容を踏まえ、意識的に健康的な行動を取る。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
講義・実技ともにプリント資料の配布ならびにビデオ教材の視聴を用いて実施する。	

課題に対するフィードバック

各種健康度指標への回答と、基準値との比較を通して、自己の健康行動の振り返りを行う。

備考

講義・実技の日程は、天候上の理由で変更する場合がある。  
実施場所変更の場合は、掲示板にて通知する。

科目名	倫理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	田中 智輝	関連する資格		

授業概要

倫理学は、道徳的行為や性格の「正しさ」や「善さ」の根拠を、できるだけ合理的かつ哲学的に問う学問である。本授業では著名な哲学者・宗教家の思想を取り上げ、倫理学の基本的な考え方を紹介すると同時に、現代の応用倫理学も考察する。

到達目標

B1105

1. 倫理学理論を用いて推論することが可能になる
2. 現代的な課題に興味関心を示すことが可能になる
3. 倫理的な方法論を用いて課題を分析することが可能になる

成績評価方法

- ・ 知識：80%
- ・ 態度：10%
- ・ 技能：10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							80
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 本講義の概要：倫理とはなにか？ 【予習】倫理とは何かについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
2) 倫理学とはどのような学問か？ 【予習】倫理学の概要について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
3) 法・政治・経済・宗教と倫理 【予習】倫理と法・政治・経済・宗教の関係について疑問点を抽出する（45分）【 復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
4) 義務論の考え方を学習する。 【予習】義務論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
5) 功利主義の考え方を学習する。 【予習】功利主義について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
6) 義務論と功利主義の考え方を事例を通じて検討する。 【予習】事前に配布する資料をもとに、論点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
7) 倫理理論としての共感理論を学習する。 【予習】共感と倫理がいかに関わるかについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
8) 徳倫理学の考え方を学習する。 【予習】徳倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
9) ケアの倫理学の考え方を学習する 【予習】ケアの倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
10) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
11) 現代社会における倫理的課題：死をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
12) 現代社会における倫理的課題：科学技術による生への介入 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
13) 現代社会における倫理的課題：未来倫理学 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
14) 現代社会における倫理的課題：AI技術と倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
15) 総括：本講義のまとめ 【予習】倫理学を学ぶことの今日的意義について考え、要点を整理する（45分）【 復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
授業外学習	
講義内で示した課題について事前に準備する。講義の内容を踏まえたレポート等の作成を行なう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
講義内で適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

課題、レポートのついてのフィードバックは基本的に講義内で行う。

備考





授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ヒトの心・サル的心 文化人類学と自然人類学 予習「ヒトと他の生物の違いは何でしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
2) フィールドワークの泣き笑い 文化人類学の方法 予習「身に覚えのないことで地元の人に非難されたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
3) 調査されるという迷惑 宮本常一先生と調査地被害 予習「周防大島出身の宮本常一先生を知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
4) すべてのものにカミが宿っている アニミズムの世界 予習「人間以外の生き物に声をかけることがありますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
5) 日本が単一民族国家ではない証拠 アイヌ民族との出会い 予習「1990年の北海道庁のアンケートの結果アイヌ民族は何人？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
6) 「自分と違う人たちは苦手？ DNAの旅とフリーハグ 予習「人間とチンパンジーのDNAは何パーセントくらい共通？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
7) はじめての海外旅行 コンゴ民主共和国の森の村で 予習「アフリカで村長から『養子になれ』と言われたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
8) 生物の多様性と文化の多様性を生かす コンゴの民衆の智恵 予習「塩と砂糖だけを買う森の村で作れる料理の数は何種類？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
9) お金が通用しない暮らし 贈り物・物々交換・地域通貨・仮想通貨 予習「突然お札が通用しなくなったら暮らしはどうなる？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
10) 女性として生きるのがつらい国 コンゴ民主での性暴力など 予習「スマホに不可欠のタンタル鉱石とコンゴ内戦のつながりは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
11) 今を生きる指針としての神話 コンゴの森の人びとの語りから 予習「子どものころから聞いた神話の中で印象に残るものは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
12) 民衆の記憶力 昔むかしの漂流民の伝承を与那国島で聞く 予習「言い伝えは、何年前くらいまでさかのぼれるものでしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
13) 生ハムとワインの国 おいしい食べ物が異文化攻撃の武器にもなる 予習「サビエルと山口とのかかわりを知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
14) 武器をもって闘ったお坊さんたち 幕末長州の真宗僧の活躍 予習「幕府軍が長州を包囲した四境戦争はいつ起こったか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
15) みんなちがってみんな「？」 たくさんの思いこみからの解放 予習「あなたなら上記の『？』にどんな言葉をいれますか？」 復習「最終レポートのテーマを考えよう」	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
授業外学習	
復習は、課題3問程度に回答することです（60分）。予習は、次回講義の用語をgooglescholarなどで検索し、関連のある文章に目を通してみましょう（30分）。最終回の予習は、「最終レポートのテーマを考えよう」です。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト、宮本常一・安溪遊地、2008『調査されるという迷惑 フィールドに出る前に読んでおく本』（みずのわ出版） 担当教員のブログ <a href="http://ankei.jp">http://ankei.jp</a>	

課題に対するフィードバック

毎回の質問には、次の回までにできるだけ答えるようにしていきます。また、すぐれた意見については、ご本人の同意の上でクラス全体でシェアします。

備考

科目名	人体の構造と機能			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

この授業では、正常な人体の構造と機能に関する基本的知識を学ぶ。私たちの身体の中にはさまざまな臓器があり、生命を維持するためのそれぞれ大切な機能を果たしている。それらの機能は、全体として体内の恒常性（ホメオスタシス）を保つためにお互いに協力し合って機能している。その調節が破綻し、恒常性が失われた状態が病気である。患者の病態をアセスメントし、適切な看護を実践するためには、正常な人体の構造と機能に関する知識が不可欠である。  
 前期は、細胞、組織、消化器、呼吸器、血液、循環器、泌尿器、内分泌、骨、筋について学ぶ。  
 医師としての実務経験をもとに、人体の構造と機能について授業を行う。

到達目標

B1226y

1. 細胞の構造と機能を説明できる。
2. 組織の構造と機能を説明できる。
3. 主要な臓器の構造と機能を説明できる。

成績評価方法

2時限続きの授業を1回とし、前期は15回の授業を行う。  
 15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ得点に関わらず不合格とする。  
 毎回の授業で実施する小テストの合計点で成績を評価する。  
 小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。  
 期末テストは実施しない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 細胞 細胞小器官、核、細胞膜 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 2. 組織 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 3. 消化器（1）口腔、咽頭、食道、胃 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 4. 消化器（2）小腸、大腸、腹膜、腸間膜、膵臓 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 5. 消化器（3）肝臓・胆嚢 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 6. 呼吸器 構造、呼吸運動、ガス交換 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 7. 血液 赤血球、白血球、血小板、血漿 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 8. 循環器（1）心臓の構造、心臓の拍出機能 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 9. 循環器（2）血管、微小循環、リンパ、血圧 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 10. 泌尿器（1）腎臓、尿管、膀胱 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 11. 泌尿器（2）水・電解質の調節、酸塩基平衡の調節 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 12. 内分泌（1）視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 13. 内分泌（2）副腎、性腺、膵臓、消化管ホルモン 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 14. 骨と筋（1）骨と筋の構造 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 15. 骨と筋（1）関節、主な骨格と筋 【予習】教科書の該当部分を読むこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
16)	
17)	
18)	
19)	
20)	

21)	
22)	
23)	
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

**授業外学習**

予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。  
復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座「人体の構造と機能(1)解剖生理学」(医学書院)	「生物・免疫学」、「病理学」、「薬理・薬剤学」、「栄養学(生化学を含む)」、「疾病論」、「」

**課題に対するフィードバック**

小テストは、グーグルクラスルーム上で正解と解説をつけて返却する。

**備考**

--


科目名	人体の構造と機能			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	1年	後期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

この授業では、正常な人体の構造と機能に関する基本的知識を学ぶ。私たちの身体の中にはさまざまな臓器があり、生命を維持するためのそれぞれ大切な機能を果たしている。それらの機能は、全体として体内の恒常性（ホメオスタシス）を保つためにお互いに協力し合って機能している。その調節が破綻し、恒常性が失われた状態が病気である。患者の病態をアセスメントし、適切な看護を実践するためには、正常な人体の構造と機能に関する知識が不可欠である。

後期は、神経系、感覚器、皮膚、生体防御機構、体温調節、男性生殖器、女性生殖器、成長と老化について学ぶ。医師としての実務経験をもとに、人体の構造と機能について授業を行う。

到達目標

B1227y

1. 神経系と感覚器の構造と機能を説明できる。
2. 生体防御機構について説明できる。
3. 体温調節のしくみについて説明できる。
4. 生殖器の構造と機能を説明できる。
5. 成長と老化について説明できる。

成績評価方法

後期15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ得点に関わらず不合格とする。毎回の授業で実施する小テストの合計点で成績を評価する。小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。期末テストは実施しない。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 16. 神経系（1）ニューロン 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 17. 神経系（2）中枢神経系 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 18. 神経系（3）末梢神経系 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 19. 神経系（4）脳の高次機能 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 20. 感覚器（1）視覚 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 21. 感覚器（2）味覚、嗅覚、聴覚、平衡覚、皮膚感覚 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 22. 皮膚 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 23. 生体防御機構（1）自然免疫、獲得免疫 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 24. 生体防御機構（2）免疫応答、アレルギー 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 25. 代謝と体温調節 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 26. 男性生殖器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 27. 女性生殖器（2）構造、性周期 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 28. 女性生殖器（2）減数分裂、受精、発生、胎盤 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 29. 小児期の成長 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 30. 老化 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習	
予習では、テキストの該当部分を読んでおくこと。 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「系統看護学講座人体の構造と機能（1）解剖生理学」（医学書院）	「系統看護学講座人体の構造と機能（1）解剖生理学」（医学書院）



課題に対するフィードバック

小テストは、グーグルクラスルーム上で正解と解説をつけて返却する。

備考

科目名	生涯発達心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	後期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	看護師、保健師、養護教諭	

授業概要

生涯発達心理学は、人の誕生から死までの発達過程を心理学的観点から捉えることを目的とした学問である。乳児期～高齢期までの各発達段階の心理的な特徴を学び、看護師としての人間理解に役立てる。将来、看護師として様々な年代の方と出会うことに先立ち、人を理解するための知識と技術として学んでもらいたい。

到達目標

- 1) 発達段階の違いを人間の多様性の一つと捉え、各段階の心理学的な特徴と発達課題を理解する。
- 2) 各発達段階において、どのような心理的なサポートが必要なのか、また発達を促進するのかを理解する。

成績評価方法

各回の授業の課題提出(50%)および最終レポート試験(50%)で評価する。各回の授業の課題は授業内で取り組む場合と宿題の場合がある。これらから総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。出欠は、課題提出をもって講義の参加とする。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○	○		50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		25
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生命の芽生えから新生児期まで【予習】20分：生まれてからこれまでの自分の成長をふり返る。予習キーワード：五感、胎児、親子のコミュニケーション【復習】20分：講義資料の振り返り	小論文、グループディスカッション
2) 乳児期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：愛着、社会性の発達、言語発達【復習】20分：講義資料の振り返り	小論文、グループディスカッション
3) 幼児期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：認知機能（知的能力）の発達、コミュニケーション能力の発達【復習】20分：講義資料の振り返り	小論文、グループディスカッション
4) 児童期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：道徳性の発達、知的能力の発達【復習】20分：講義資料の振り返り	小論文、グループディスカッション
5) 思春期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：思春期、自立【復習】20分：講義資料の振り返り	小論文、グループディスカッション
6) 青年期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：アイデンティティ【復習】20分：講義資料の振り返り	小論文、グループディスカッション
7) 成人期・中年期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：心理社会的危機【復習】20分：講義資料の振り返り	小論文、グループディスカッション
8) 高齢期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：認知機能の低下、人生の振り返り【復習】20分：講義資料の振り返り	小論文、グループディスカッション
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
人間を理解する他の授業や実習においても、「今、学んでいる（関わっている）対象者の心理的側面や発達の側面はどうか」と関心をもつ。また、自分自身の成長のプロセスをふり返り、今後の予測を立てるなど、自分を通して発達について考える。身近な知人や家族の様子を観察し、その発達段階について考察する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは、教員が資料を配布する。教科書の購入は、必要ない。発達心理学に関する参考資料は多岐にわたり、心理学だけでなく、教育学や社会学、医学領域にも広がっている。図書館などで、授業に関連する書籍や雑誌に積極的に触れておくことが望ましい。	母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論

課題に対するフィードバック

提出されたレポートは、コメントを付けて返却する。

備考

科目名	コミュニケーション論（カウンセリングを含む）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	小山 典子、榎本 俊哉		関連する資格				
<b>授業概要</b> 保健・医療・福祉および学校保健の現場で言語・非言語コミュニケーション活動を展開するにあたって、コミュニケーション論を基本にして、他者との人間関係における自己表現方法を学ぶ。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせ学習する。							
<b>到達目標</b> B1209h ・保健・医療・福祉におけるコミュニケーションの重要性と必要性について説明できる ・学校現場におけるコミュニケーションの重要性と必要性について説明できる ・他者との人間関係を良好に保つための技術としての自己表現方法がわかる ・専門職としてかかわる中で必要なコミュニケーション技術とカウンセリングの基本がわかる			<b>成績評価方法</b> レポート及び授業参加度で総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) コミュニケーションとは（小山）	レポート
2) コミュニケーションを支える心理（小山） 【予習】対人援助職としてのコミュニケーションとは何か考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
3) コミュニケーションを動かす心理（小山） 【予習】「感情労働」について調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
4) 親子のコミュニケーション（児童期）（榎本） 【予習】学校現場（児童期）におけるコミュニケーションとは何か考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
5) 親子のコミュニケーション（思春期）（榎本） 【予習】学校現場（思春期）におけるコミュニケーションとは何か考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
6) アサーション（気持ちを伝える言葉の技術）（榎本） 【予習】アサーションについて調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
7) カウンセリングの基本1（相談での心構え）（榎本） 【予習】「共感的理解」の大切さについて考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
8) カウンセリングの基本2（相談での言葉の技術）（榎本） 【予習】臨床現場におけるカウンセリング・マインドの重要性について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
9) 児童・思春期心身症の看護とカウンセリング（小山） 【予習】児童・思春期の心身症にはどのようなものがあるか調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
10) ディスコミュニケーションとは かかわり合いから生じる誤解を解く（小山） 【予習】コミュニケーションのすれ違いはどこからくるのか考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
11) 慢性疾患看護とカウンセリング（小山） 【予習】糖尿病患者に対する看護アプローチについて調べておく（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
12) 専門職のためのメンタルケア（小山） 【予習】専門職へのメンタルケアの必要性について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
13) 専門職のためのメンタルケア（小山） 【予習】バーンアウトについて調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
14) コミュニケーションにおける信頼関係と責任（小山） 【予習】信頼関係を築く応答について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
15) 総括（小山）	
授業外学習	
地域社会の情報から特に医療・看護における心理学的なアプローチが必要と思われる事例について関心をもつこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：必要に応じて資料を配布する。 参考書：看護臨床における話す・聴く ケアを実らせるポイントとその実際，上野轟，医学書院	

課題に対するフィードバック

レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

科目名	微生物・免疫学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	尾家 重治		関連する資格	薬剤師、 医学博士、 インフェクション コントロール ド クター			
<b>授業概要</b> 本授業は対面で実施する。 感染症は迅速で的確な処置が求められる重要な疾患である。講義では、種々の感染症を起こす病原微生物について学び、それらの生物学的特性と感染症を起こす仕組みについて理解する。 また、生体の感染防御機構である免疫の仕組みを学び、理解する。 さらに、感染制御の理論と実践についての知識を習得する。  39年間にわたり、山口大学病院において感染対策委員やインフェクション コントロール ドクター（ICD）として院内感染防止活動の実務経験がある。これらで得られた知識をもとに病原微生物や感染防止対策についての授業を行う。							
<b>到達目標</b> B1229y 1. 感染症をおこす病原微生物を知り、病原微生物と感染症との関係について記述できる。 2. 感染防御の仕組みを理解し、説明できる。 3. 感染予防の考え方と方法を学び、看護師として感染予防を実践するうえで留意すべきことを具体的に述べるができる。			<b>成績評価方法</b> 知識：定期テスト、小テストにて知識の有無を問う試験（多肢選択、穴埋め、記述式など）を行う。  態度：小レポートにて、感染症をおこす病原微生物や感染防御の仕組みについて関心を持ち、自ら課題を設定して調べる積極性 看護上留意すべき感染予防の考え方と方法について自ら課題を設定して意見を述べる主体性 などを評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 微生物・免疫学の基礎：なぜ学ぶか、感染と感染症、病原微生物とは、微生物の性質、微生物学の歩み【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
2) 細菌の形と特徴：グラム染色法、細菌の基本的な構造、芽胞とは、病原細菌が増殖する条件と代謝【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
3) 病原微生物の種類、常在微生物叢：ゲノムでわかる生物の進化、病原微生物の大きさや特徴【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
4) 感染と感染症：感染症はどのようにして起こるか、微生物の侵入経路、付着・侵入から発症まで、発症後の経過、細菌の毒素【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
5) 感染に対する生体防御 - 1：免疫とは、自然免疫の仕組み、自働免疫と獲得免疫【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
6) 感染に対する生体防御 - 2：獲得免疫の仕組み、獲得免疫に働く細胞、抗体の構造と働き、T細胞、アレルギー【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
7) 感染症の基礎：感染に見られる一般的な症状、日本で多く見られる感染症【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
8) 滅菌と消毒-1：滅菌と消毒の意味、滅菌法、消毒薬の種類と使い方、感染症の検査と診断-1：細菌感染症、ウイルスの感染症の検査法を学ぶ【予習】該当単元を読む（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
9) 滅菌と消毒-2：滅菌と消毒の意味、滅菌法、消毒薬の種類と使い方、感染症の検査と診断-2：細菌感染症、ウイルスの感染症の検査法を学ぶ【予習】該当単元を読む（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
10) 感染症の治療：治療に用いられる薬、耐性菌とは何か 感染症への対策：感染症法とは、感染予防策、ワクチン 【予習】該当単元を読む（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
11) 細菌感染症 - 1：ブドウ球菌、連鎖球菌、淋菌、緑膿菌、レジオネラ、百日咳菌、腸炎ピブリオ、インフルエンザ菌とその感染症【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
12) 細菌感染症 - 2：カンピロバクター、ヘリコバクター、結核菌、破傷風菌、ディフィシル菌、梅毒トレポネーマとその感染症【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
13) 細胞内寄生細菌感染症：リケッチアとクラミジアの感染症 真菌・原虫感染症：カンジダ、白癬菌、トキソプラズマの感染症 【予習】該当単元を読む（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
14) ウイルス感染症 - 1：エボラ出血熱、デング熱、インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎、エイズ、ウイルス性肝炎【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小レポート
15) ウイルス感染症 - 2：ポリオ、狂犬病、日本脳炎、麻疹、風疹、水痘/帯状疱疹、ヘルペス、乳頭腫【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。</li> <li>・授業中に板書する要点や配布する資料は重要事項ですので、授業後には必ず整理し、十分に自己学習を行ってください。小テスト、小レポート、定期試験で理解度や学習意欲を評価します。</li> <li>・授業で学んだ該当単元の詳細は、テキストを読んで確認するようにしてください。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 「微生物学」第12版、医学書院  資料プリントの配布	医療安全管理学 公衆衛生看護学 災害看護学

課題に対するフィードバック

- ・小テスト、小レポートは翌週にコメントをつけて返す
- ・小テストの解説を翌週に行う

備考

科目名	病理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	崔 丹	関連する資格		

授業概要

生体の恒常性が乱れ、その結果生じてくる病理学的変化を理解する。循環器系、呼吸器系、消化器系、神経・運動器系など各臓器の病理、また、代謝、炎症、腫瘍などの病理、さらに老年期疾患の特徴と老化のメカニズム、放射線障害とその防御等について学ぶ。疾患の診断、治療方針の決定などに大きく関わる臨床病理学について説明できる。

到達目標

B1230

全身諸臓器の正常構造および働きを理解する。  
病理学総論および循環器系、呼吸器系、消化器系、神経・運動器系などの各臓器の代表的疾患を理解し、説明できる。病理および臨床検査の基礎知識や意義を理解する。

成績評価方法

筆記試験により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 病理学で学ぶこと、先天異常と遺伝子異常、病理診断の実際 病理学が医学や医療のなかでどのような役割を担っているかを理解する。【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
2) 細胞・組織の障害と修復 細胞傷害の原因と機序、組織の修復過程について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
3) 循環障害(1) 浮腫・充血・うっ血・出血・血栓症・梗塞などの局所循環障害を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
4) 循環障害(2)、代謝障害 全身性循環障害及び代謝障害について学習する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
5) 炎症と免疫、移植と再生医療(1) 炎症と免疫について学び、アレルギーについて理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
6) 炎症と免疫、移植と再生医療(2)、感染症 移植と再生医療を学習する。感染症の一般的な特徴について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
7) 腫瘍(1) : 腫瘍とはなにか、悪性腫瘍と良性腫瘍の違いなにかおよびがん転移の過程とその経路について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
8) 腫瘍(2)、老化と死 : がんの発生原因や診断・治療についての最新情報を学ぶ。加齢に伴う身体の変化や死にまつわる様々な問題について正しく理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
9) 循環器系の疾患 血管疾患と心疾患について、その定義と病態を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
10) 血液・造血器系の疾患 リンパ節の代表的疾患や造血系疾患について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
11) 呼吸器系疾患 気管・気管支・肺の疾患の発症機序、診断について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
12) 消化器系疾患(1) 口腔・食道・胃の疾患について、その定義と病態を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
13) 消化器系疾患(2)、内分泌系の疾患 肝・膵の疾患を学ぶ。内分泌系疾患の全身への影響の仕組みを理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
14) 腎・泌尿器系、生殖器系及び乳腺の疾患、目・耳・皮膚の疾患 腎・泌尿器系、生殖器系及び乳腺および目・耳・皮膚の疾患について学ぶ。【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
15) 脳・神経・筋肉系の疾患、骨・関節系の疾患 脳・神経・筋肉系および骨・関節系のおもな疾患について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
授業外学習	
毎授業後にはレポート提出すること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 医学書院	

課題に対するフィードバック

小テスト、授業内レポートについては、翌週ポイントを解説する。

備考

科目名	薬理・薬剤学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	尾家 重治		関連する資格	薬剤師、 医学博士、 インフェクション コントロール ド クター			
<b>授業概要</b> 本授業は対面で実施する。 薬物が生体に及ぼす影響と薬理作用について学び、臨床で用いられる医薬品の効果と有害作用・副作用、その薬物の適用と投与方法について理解する。 個々の薬物の基礎知識、薬物の安全性と認可方法についても学ぶ。 各種疾患に対して用いられる薬物の適用方法（目的、作用・副作用、効果判定）、化学療法、輸血療法の具体例について学び、薬物療法と患者の生活の質について理解し、薬物療法における看護職の役割を理解する。  39年間にわたり、山口大学病院薬剤部において調剤、製剤、Drug Information (DI) および試験研究などの実務経験がある。これらで得られた知識をもとに薬剤の適正使用について授業を行う。							
<b>到達目標</b> B1231y 1. 薬の効果発現までの過程を知り、個々の薬物の基礎知識を記述できる。 2. 薬の作用・副作用について理解し、医薬品の効果と有害作用・副作用、医薬品の適用と投与方法について説明できる。 3. 薬物療法における看護職の役割を理解し、看護上留意すべきことを具体的に述べるができる。			<b>成績評価方法</b> 知識：定期テスト、小テストにて知識の有無を問う試験（多肢選択、穴埋め、記述式など）を行う。 態度：小レポートにて、薬の作用・副作用、薬理効果について関心を持ち、自ら課題を設定して調べる積極性 看護上留意すべき薬理効果・副作用について自ら課題を設定して意見を述べる主体性 などを評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) からだの中のくすりの動き 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
2) 薬の効果に影響する因子 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
3) くすりのリスク 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
4) 抗感染症薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
5) 抗がん薬・免疫治療薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
6) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
7) 末梢神経に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
8) 中枢神経系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
9) 心臓・血管系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
10) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
11) 代謝に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
12) 皮膚科用薬・眼科用薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
13) 消毒薬・救急用薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
14) くすりが出るまで物質 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小レポート
15) 総括 【予習】今までの授業ノートを見直してくる（30分） 【復習】理解が不十分な所を中心に自己学習し、試験に備える（30分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。</li> <li>・ 授業中に板書する要点や配布する資料は重要事項ですので、授業後には必ず整理し、十分に自己学習を行ってください。小テスト、小レポート、定期試験で理解度や学習意欲を評価します。</li> <li>・ 授業で学んだ該当単元の詳細は、テキストを読んで確認するようにしてください。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 「薬理学」 医学書院 2,310円  資料プリントの配布	微生物・免疫学 医療安全管理学

課題に対するフィードバック

- ・小テスト、小レポートは翌週にコメントをつけて返す
- ・小テストの解説を翌週に行う

備考



科目名	看護学概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	前期			
担当者名	佐藤 美幸		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 看護の基本概念を踏まえて看護学の知識体系の思考過程と専門職としての看護の機能と役割について学修する。看護活動の対象である人間を、健康から死、成長・発達、ライフサイクル、生活主体としての側面から考察し、ニーズの充足と自立、適応に焦点を当てた看護活動について学ぶ。看護の基本は患者、クライアントと生活者である人の苦痛を軽減し、安全・安楽・自立を確保し、環境を整え安寧を保障することである。生命倫理（尊厳死、脳死、臓器移植、生殖医療など）・人間の尊厳や基本的人権を基盤に看護活動を展開することである。看護学の創造のため大学では看護学の歴史、患者の権利をめぐる歴史の変遷など温故知新を学修する。さらに、看護師のジレンマ、インフォームド・コンセントと意思決定、個人情報とプライバシーの保護、緩和医療、看護師の法的責任や倫理的行動規範など看護行為を支える看護倫理について概要を学び、次世代の看護システムを考察する基礎を創る。 （佐藤美幸は看護師としての実務経験を基にこの授業を行う）							
<b>到達目標</b> B1106 y 1．看護の主要概念である人間、健康、環境、看護について説明できる。 2．看護とは何かを自らの言葉で説明できる 3．保健医療提供システムにおける看護の役割と機能について説明できる。 4．看護に関連する法と制度、看護実践の基準の概要を記述できる。 5．看護学の歴史を学び、過去、現在、未来の方法論について考察できる。 6．看護における倫理的問題について議論し、自らの考えをまとめることができる。 7．看護提供の仕組みについて説明できる。 8．国際看護活動、災害時における看護の役割を述べるができる。			<b>成績評価方法</b> 定期試験、レポートにより評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)			○	○	○		60
小テスト、授業内レポート			○	○	○		10
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○						
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	看護とは（1）看護師とは何をする職業か、看護の定義 教科書p2-39 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
2)	看護とは（2）看護の役割と機能、看護の継続性と連携 教科書 p 39 - 74 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
3)	看護の対象の理解 教科書 p 78 - 129 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
4)	国民の健康状態と生活 教科書 p 108 - 129 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
5)	看護の提供者 職業としての看護 看護職の資格・養成制度・就労状況 p 138-162 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
6)	看護の提供者 継続教育とキャリア開発、養成制度の課題 p 162-184 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
7)	看護における倫理 現代社会と倫理、患者の権利とIC、倫理規定 p186-193 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
8)	看護における倫理 現代医療におけるさまざまな倫理的問題 p193-198 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
9)	看護における倫理 看護実践における倫理問題への取り組み p198-218 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	事前課題
10)	看護における倫理 看護実践における倫理問題への取り組み p198-218 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	グループワーク
11)	看護提供の仕組み サービスとしての看護 看護サービス提供の場 p220-246 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
12)	看護提供の仕組み 看護をめぐる制度と政策 p247-271 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
13)	看護提供の仕組み 看護サービスの管理 p271-291 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
14)	看護提供の仕組み 看護提供の仕組み医療安全と医療の質保証 p292-304 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	
15)	広がる看護の活動領域 国際化と看護、災害時における看護（金川、伊藤） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）	レポート
授業外学習		
教科書の指定されたページは必ず目を通しておく 課題が出された場合には、期限内に提出する		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
1. 茂野香おる他編：看護学概論 医学書院 2. ナイチンゲール：看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護 日本看護協会出版会 3. ヴァージニア・ヘンダーソン著/湯楨ます他訳：看護の基本となるもの 日本看護協会出版会		基礎看護方法論 ・ 、基礎看護方法演習 ・ 、基礎看護学 実習 ・ 、臨床看護総論、看護理論、看護管理学、災害看護 論、国際看護論

課題に対するフィードバック

授業内GWとして、シェアするとともに全体でコメントする。

備考

科目名	看護理論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	1年	後期			
担当者名	佐藤 美幸		関連する資格	看護師国家試験受験資格			
<b>授業概要</b> 看護学の基盤としての看護理論を学ぶことにより、「看護とは何か」を学問的・科学的に捉え、看護理論を実践や研究に結び付けていくことの意義を認識する。 看護理論家の理論を知る上で必要な概念や理論の構造について学習したうえで看護の諸理論を学び、その理論の特徴を的確に捉え、さらに看護実践や研究の中でどのように活用されているかを学ぶ。  (佐藤は看護師としての実務経験をもとに授業を行う。 )							
<b>到達目標</b> B1301  看護理論とはどのようなものかを説明できる 理論の範囲とその適用について述べるができる 看護の主要概念について述べるができる 主な看護理論の概要と特徴を説明できる 看護理論と看護実践、看護過程、看護研究の関係を述べるができる 看護理論の看護過程への応用を説明できる 看護とは何かについての自分の考えを言える			<b>成績評価方法</b> 期末試験 60% 課題レポート 40%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 理論とは何か、看護理論とは何か、なぜ看護理論が必要か 【予習】 シラバスを読んでくる（10分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
2) 理論の機能と構成要素、基本的な特徴、モデル 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
3) 看護理論開発の歴史、看護モデルと医学モデル 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
4) 看護理論の範囲、共通要素（4大概念） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	グループワーク
5) 看護理論の評価、看護理論の有効性と限界 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
6) 看護の諸理論1（ナイチンゲール） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	事前課題/グループワーク
7) 看護の諸理論2（ヘンダーソン） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	事前課題/グループワーク
8) 看護の諸理論3（オランダ、アブデラ、ウィーデンバック、ワトソン） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
9) 看護の諸理論4（オレム、ロイ） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
10) 看護の諸理論5（ペプロウ、トラ・ル・ー） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
11) 看護の諸理論6（ロジャーズ、キグ、バー） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
12) 看護理論と看護研究、看護実践、看護過程の関係、応用1 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
13) 看護理論と看護研究、看護実践、看護過程の関係、応用2 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
14) 看護とは何か1 【予習】 看護の力を読む 【復習】 看護の力についてのレポートを作成する	グループワーク
15) 看護とは何か2 【予習】 看護の力を読む 【復習】 看護の力についてのレポートを作成する	グループワーク
授業外学習	
事前配布のプリントはすべて目を通して授業に臨むこと	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリント配布 看護の力：川嶋みどり著、岩波新書  看護学概論で用いた教科書（看護覚え書き、看護の基本となるもの）	看護学概論

課題に対するフィードバック

提出された課題を用いてグループワークを行う。グループワークおよび講義の中でコメントする。

備考

科目名	基礎看護援助論（共通看護技術）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	1年	前期			
担当者名	磯村 由美、福岡 泰子、金子 真弓		関連する資格	看護師			
<b>授業概要</b> < 授業の目標 > 看護援助に共通するコミュニケーション技術、生活環境調整技術、感染防止の基礎技術、活動・休息援助技術、苦痛の緩和・安楽確保の技術、ヘルスアセスメントの技術について学ぶ。看護技術の科学的思考と安全・安楽・自立の視点を踏まえ、基本的な看護技術の修得を図る。 < 授業形態 > 講義・演習							
<b>到達目標</b> B1401y 1. 看護における看護技術の重要性を説明できる。 2. 看護技術を適切に実践する必要性を述べるができる。 3. 看護技術を安全・安楽・自立の視点で考える力を身につけることができる。 4. 看護の観察およびコミュニケーションの意義と目的を説明できる。 5. 感染防止、標準予防策の基礎知識について述べるができる。 6. 標準予防策を正確に実施できる。 7. 環境調整の基礎知識について述べるができる。 8. 活動・休息援助技術の基礎知識について述べるができる。 9. 苦痛の緩和・安楽確保の技術の基礎知識について述べるができる。 10. ボディメカニクスの原理に基づきベッドメイキング、体位変換・ポジショニングが実施できる。 11. バイタルサイン測定の意義と測定方法について述べるができる。 12. バイタルサイン測定および意識の観察が正確に実施できる。 13. 計測の意義と目的について述べるができる。 14. 正確な身体計測方法が実施できる。			<b>成績評価方法</b> 定期（筆記）試験、技術試験、課題レポートにより総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○						60
小テスト、授業内レポート	○						
宿題、授業外レポート		○	○	○			10
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		
プレゼンテーション		○	○	○	○		
グループワーク		○	○	○	○		
演習		○	○	○	○		30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 基礎看護技術の基盤、コミュニケーション（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.18～62を読んでおく（30分） 【復習】コミュニケーションの意義・構成要素と過程（30分） 担当：磯村由美	
2) 環境調整技術、感染防止の技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.10～26、 p.64～82を読んでおく（30分） 【復習】病室・病床環境の整備、感染標準予防策（30分） 担当：磯村由美	
3) 活動・休息援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.104～124を読んでおく（30分） 【復習】体位、体位変換とボディメカニクスの活用（30分） 担当：磯村由美	
4) 苦痛の緩和・安楽確保の技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.152～168を読んでおく（30分） 【復習】体位保持（ポジショニング）、電法（30分） 担当：磯村由美	
5) 環境調整技術（演習） 【予習】事前レポート（病室・病床の環境アセスメント、環境整備）（15分） 【復習】事後レポート（15分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
6) 標準予防策（演習） 【予習】事前レポート（手指衛生、個人防護用具）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
7) 環境調整技術（演習） 【予習】事前レポート（ベッドメイキング、シーツ交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
8) 7)に同じ	グループワーク
9) 活動・休息援助技術（演習） 【予習】事前レポート（体位変換、ボディメカニクス）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
10) 苦痛の緩和・安楽確保の技術（演習） 【予習】事前レポート（体位保持：ポジショニング）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
11) ヘルスアセスメント バイタルサイン測定（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.128～176を読んでおく（30分） 【復習】バイタルサイン測定の基礎知識と測定方法（30分） 担当：磯村由美	
12) ヘルスアセスメント 計測（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.176～191を読んでおく（30分） 【復習】計測の実際（身長・体重・皮下脂肪・腹囲）（30分） 担当：磯村由美	
13) ヘルスアセスメント バイタルサイン測定（演習） 【予習】事前レポート（体温、脈拍、呼吸、血圧、意識観察）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
14) 13)に同じ	グループワーク
15) ヘルスアセスメント 身体計測（演習） 【予習】事前レポート（身長・体重・皮下脂肪・腹囲）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク

授業外学習

看護技術を身につけることは看護者の責務であるが、授業時間内に経験しただけで自分の技にすることは困難であるため、クラスメイトと協力しあい、個々の能力を高める努力をすること。  
演習前の事前レポートは、講義や動画視聴による知識をまとめ、看護技術のイメージ化をして、演習に臨むようにする。  
演習後の事後レポートは、看護技術の実施内容・評価を記載し、自己の課題を明らかにすることで、技術修得につなげる。  
演習では専門職としての自覚を持ち、身だしなみを整えて臨むこと。  
演習後に国家試験問題を解き、学修への意欲をもつようにする。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1. 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学 医学書院 2. 任 和子：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学 医学書院 3. 竹尾恵子監修，看護技術プラクティス第4版，学研メディカル秀潤社，2019.	看護学概論 基礎看護援助論 ・ ・ 臨床看護総論 基礎看護学実習 基礎看護学実習



課題に対するフィードバック

事前・事後レポートはコメントを入れて返却する。

備考

科目名	基礎看護援助論（生活援助技術）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	磯村 由美、福岡 泰子、金子 真弓		関連する資格	看護師			
<b>授業概要</b> < 授業の目標 > 人の日常生活上の基本的欲求である食事、排泄、活動・休息、清潔への援助技術について、講義および演習をとおして学ぶ。演習では、患者役、看護師役を体験するなかで、相手の立場に立ち、相手を思いやる態度を養う。看護技術の科学的思考と安全・安楽・自立の視点を踏まえて、看護技術の修得を図る。 < 授業形態 > 講義・演習							
<b>到達目標</b> B1402 1. 看護における日常生活援助の意義について述べるができる。 2. 基礎的な日常生活援助技術が科学的根拠に基づき安全・安楽、自立をめざして、かつ効率的に実施できる。 3. 活動と休息に関する基礎知識について述べるができる。 4. 移動・移乗・移送の援助方法を修得できる。 5. 栄養と食事に関する基礎知識について述べるができる。 6. 食事摂取の援助方法、口腔ケアの基本技術を修得できる。 7. 排泄援助の基礎知識について述べるができる。 8. 排泄行動をとれない人への援助方法を修得できる。 9. 清潔援助の基礎知識について述べるができる。 10. 清潔を維持するための援助方法を修得できる。 11. 活動・休息、食事、排泄、清潔援助技術の実施前、実施中、実施後のアセスメントができる。 12. 看護技術を支える態度を養うことができる。 13. 学修の成果について、グループで意見交換することができる。			<b>成績評価方法</b> 技術試験、定期（筆記）試験、課題レポート、小テスト、演習での姿勢や態度（身だしなみ、言葉遣い）で総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		15
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		15
授業態度・授業参加度	○				○		5
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○	○		
演習		○	○	○	○		35
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 日常生活援助技術、活動・休息援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.124～150を読んでおく（30分） 【復習】車イス/ストレッチャーでの移動・移乗・移送（30分） 担当：礪村由美	
2) 活動・休息援助技術（演習） 【予習】事前レポート（車イス/ストレッチャーでの移動）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
3) 2)に同じ	グループワーク
4) 食事援助技術（講義） 【予習】基礎看護技術 p.28～51、215～223、298～307を読んでおく（30分） 【復習】食事援助の基礎知識、食事介助、口腔ケア（30分） 担当：礪村由美	
5) 食事援助技術（演習） 【予習】事前レポート（食事介助、口腔ケア）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
6) 5)に同じ	グループワーク
7) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.170～184を読んでおく（30分） 【復習】清潔援助の基礎知識、入浴、シャワー浴（30分） 担当：礪村由美	
8) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.184～189、224～232を読んでおく（30分） 【復習】全身清拭、寝衣交換（30分） 担当：礪村由美	
9) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（全身清拭、寝衣交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
10) 9)に同じ	グループワーク
11) 9)に同じ	グループワーク
12) 9)に同じ	グループワーク
13) 排泄援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.64～79、204～207を読んでおく（30分） 【復習】自然排尿/排便の基礎知識、排泄援助、陰部洗浄（30分） 担当：礪村由美	
14) 排泄援助技術（演習） 【予習】事前レポート（排泄援助：尿器/便器、おむつ交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
15) 14)に同じ	グループワーク
16) 排泄援助技術（演習） 【予習】事前レポート（陰部洗浄）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
17) 16)に同じ	グループワーク
18) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 p.190～204、207～215を読んでおく（30分） 【復習】洗髪、整容、洗面、手浴、足浴（30分） 担当：礪村由美	
19) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（洗髪、整容）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
20) 19)に同じ	グループワーク

21) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（手浴、足浴）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
22) 21)と同じ	グループワーク
23) 日常生活援助技術のまとめ（演習） 【予習】事前レポート（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

事前・事後の課題レポートでは、人体の構造と機能などの学修を並行する。専門用語などが分からない時は調べる。  
演習前の事前レポートは、講義や動画視聴による知識をまとめ、看護技術のイメージを化して、演習に臨むようにする。  
演習後の事後レポートは、看護技術の実施内容・評価を記載し、自己の課題を明らかにすることで、技術修得につなげる。  
演習では専門職としての自覚を持ち、身だしなみを整えて臨むこと。  
演習後に国家試験問題を解き、学修への意欲をもつようにする。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1. 任 和子他,系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学、医学書院、2020. 2. 茂野香る他,系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学、医学書院、2019. 3. 竹尾恵子監修,看護技術プラクティス第4版,学研メディカル秀潤社,2019.	看護学概論 基礎看護援助論 ・ ・ 臨床看護総論 基礎看護学実習 基礎看護学実習

課題に対するフィードバック

事前・事後レポートはコメントを入れて返却する。

備考

--


科目名		基礎看護学実習（看護導入実習）					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	1年	後期			
担当者名	磯村 由美、福岡 泰子、金子 真弓		関連する資格	看護師			
<b>授業概要</b> <実習目的> 患者の生活や治療の場である病院とその機能を理解するとともに、対象の日常生活の理解を深め、看護の機能と役割について学ぶ。また、対象とコミュニケーションを図る能力を養うとともに、看護者としての基礎的能力を養う。病院にて1週間の実習を行う。							
<b>到達目標</b> B1403ay 1. 看護実践の場である病院・病棟・病室の概要について理解できる。 2. 臨床の場における看護師の業務や役割について知ることができる。 3. 患者の療養生活について知ることができる。 4. 患者との円滑なコミュニケーションについて学ぶことができる。 5. 看護師に必要な態度を身につけることができる。 6. 実習体験をとおして、看護学生としての自分自身を振り返ることができる。 7. 病院実習の振り返りの場や学内のまとめの会をとおして、学びを振り返り、グループメンバーと学びを共有できる。			<b>成績評価方法</b> ・基礎看護学実習 評価表（別紙）に基づき、実習内容・実習記録内容などを総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート					○		15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○						
グループワーク	○						
演習	○	○	○	○	○		
実習							85

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1. 実習内容</p> <p>1) 事前オリエンテーション（学内で実施する） 実習の目的・目標、感染予防対策、コミュニケーション技法についての演習。</p> <p>2) 病院・病棟オリエンテーションにより、病院・病棟の構造について学ぶ。 また、臨床の場における看護師の業務や役割について知る。</p> <p>3) 病院実習をとおして入院患者の療養生活について知る。</p> <p>4) 患者との円滑なコミュニケーションについて学ぶ。</p> <p>5) 看護師に必要な態度を身につける。</p> <p>6) まとめの会をとおして、学びを振り返り、グループメンバーで学びを共有する。</p> <p>2. 実習方法</p> <p>前半・後半の2クラスに分かれ履修する。</p> <p>1) 学内オリエンテーション ・実習目的・方法の説明、実習心得、身だしなみ、記録物、事前課題の説明。</p> <p>2) 病院・病棟オリエンテーション ・実習病院における看護の概要について説明を受ける。 ・病院・病棟の構造、物品場所、入院患者の特徴、看護体制、週間予定、日課などについて説明を受ける。</p> <p>3) 看護活動の見学 方法...看護師に同行しながら看護活動の見学を行う。 内容...実施されている日常生活援助及び診療の補助に関する援助を見学し、理解する。 事前学習をして臨み、実際の援助場面の見学をとおして学習を深める。</p> <p>留意点 ・学びたい視点を明確にし、根拠を考えながら見学する。 ・疑問等は調べる・確認する・聞くなどの積極的な行動をとる。 ・プライバシーの保護・倫理的配慮を遵守する。</p> <p>4) 患者とのコミュニケーション ・入院患者と看護師とのコミュニケーション場面の見学をとおして、円滑なコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・学習したコミュニケーション技術を基に、実際に入院患者とコミュニケーションを図る。</p> <p>5) 実習最終日にまとめの会を行い、他学生と学びを共有する。</p>	<p>・看護実践の場に立つことの責任を自覚し、事前学修（知識・技術）を十分に行って実習に臨むこと。</p> <p>・大学で学んだことを活用しながら、現象を多面的に捉える能力・思考する能力・伝える能力を養うようにグループワークや実習に臨むこと。</p>
授業外学習	
<p>実習は前半・後半の2クラスに分けて行う。自分が該当しない週は、自己学修時間として有効に活用すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>・実習ガイドブック、その他関連配布資料</p> <p>・教科書（基礎看護技術 ・ 、看護技術プラクティス）</p> <p>・看護学概論、基礎看護援助論 の配布資料、参考書</p>	<p>看護学概論、基礎看護援助論 ・</p>

課題に対するフィードバック

事前課題、実習記録、実習後レポートはコメントをつけて返却する。修正が必要な場合は再提出を求める。

備考

実習前に指示された抗体価検査を実施し、必要時ワクチンの接種を受けること。



科目名	教育原理						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	1年	後期			
担当者名	白石 義孝		関連する資格	養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 教育の意義と目的を理解し、教育に携わるものとしての基本的な教育学の考え方や態度を身につけるとともに、現代の教育が抱える教育問題について考察し、主体的に問題解決に取り組めるよう深い見識を養う。そのため子どもを見る視点、学力やジェンダーなどの課題、学校の在り方などの多様なトピックを扱う。これらを通して、教育への関心を高め、将来の目指すべき教師像の形成の足掛かりとする。							
<b>到達目標</b> D1402 1．教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因との相互関係を理解できる。 2．教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関りや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解できる。 3．教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関りを理解できる。			<b>成績評価方法</b> 定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（10％）、宿題、授業外レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション - 子どもの発達と教育の目的（対面授業） 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 教育とは何か（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 学校の歴史（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 古代ギリシアの教育思想（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 近代の教育思想（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 近代教育学の成立～新教育運動（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 日本の教育史（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 教育課程と授業の計画（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 教育課程と授業の実践（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 教育評価（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学校・学級の経営（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 学び続ける教師となるために（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 社会教育と生涯学習（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) 地域社会と学校（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（現代日本の教育課題、レポート作成）対面授業 予習：テキストの指定したページを読む（120分） 復習：最終課題を作成する（180分）対面授業（小テスト）+遠隔授業	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
<p>テキストの中に出てくる重要事項について事前に調べておく  グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること  発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト  ・教育原理（島田和幸・高宮正貴編著、ミネルヴァ書房）  参考書・参考資料等  ・問いからはじめる教育学（勝野正章・庄井良信著、有斐閣）  ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校）  その他講義中において適宜紹介する。</p>	<p>現代社会の教育、教職概論、教育課程論、教育相談・カウンセリング、教育方法・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、教育社会学、学校体験活動、ボランティアと社会</p>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	教職概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	前期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

社会情勢の変化もあって、現代の学校教育においては教職の役割の多様性、重要性の高まりが著しい。そうした中での教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について概説し、それらの基本的な理解をすすめる。また、法令等で定められる「教育職員（教員）」の責務を踏まえ、教職に携わる者に相応しい資質や知識・技能の獲得を図り、教職に携わる者としてふさわしい教育観を有し、力量の形成を行うことができるようになる。そのうえで、教職という職業について、自分の適性、能力等について考え、進路選択について考える。

到達目標

" 教育職に就くにあたって必要となる基本的な内容を理解する。  
 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。  
 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解し、適切な子ども観、教育観を持つ。  
 学校内外での連携・協働をすることで現代の学校を取り巻く状況に対応することの重要性を理解する。  
 教職に関して得た技能や知識を活用して、教育に関して考えることができる。 "

成績評価方法

提出物、受講態度、試験等を総合して評価する。  
 試験60%、提出物20%、ワーク20%を総合して評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							60	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク							20	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：受講に際しての留意事項 / 本講義の目指すところ	
2) 学校教育の位置づけ：公教育としての学校教育	適宜、対話形式ですすめる
3) 職業としての教員：仕事をするということ / 教員の職業的特性	適宜、対話形式ですすめる
4) 教員を取り巻く制度（１）：学校教育の法制度上の位置と教員	適宜、対話形式ですすめる
5) 教員を取り巻く制度（２）：教員に関する法制度	適宜、対話形式ですすめる
6) 教員の職務と服務（１）：教員としての職務の概要 / 服務上・身分上の義務及び身分保障	適宜、対話形式ですすめる
7) 教員の職務と服務（２）：児童・生徒の指導・支援 / 学校組織と職務 / 校務分掌	適宜、対話形式ですすめる
8) 教員としての職能向上：研修の位置づけ・重要性 / 職務階梯と職能	適宜、対話形式ですすめる
9) 子ども理解や教育相談における連携・協働：教員間SCやSSW等の専門家との連携	適宜、対話形式ですすめる
10) 児童生徒の健康・安全への対応：学校運営協議会（コミュニティスクール）やNPO、地域組織等との連携	適宜、対話形式ですすめる
11) 学校現場における養護教諭の職務・役割：ラウンドテーブル 現職養護教諭に聞く	適宜、対話形式ですすめる
12) 教職観と教員の力量（１）：教師文化と倫理 / 使命感・責任感、教育的愛情 / 社会性や対人関係能力 / 生徒理解や学級経営	適宜、対話形式ですすめる
13) 教職観と教員の力量（２）：授業を創る力量 / 教科の理解 / 保健授業案	適宜、対話形式ですすめる
14) 学校教育の現状と教職：学校評価・教員評価の現状 / 教員研修 / 教育改革	適宜、対話形式ですすめる
15) まとめ～教職への道、教職としての道：求められる教員像 / 教員採用と教職としての人生	適宜、対話形式ですすめる
授業外学習	
<p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。（20時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育職の在り方について考えたり、他者と論じたりする時間を持つこと（10時間）</li> <li>・教職や学校をめぐる最新の法制度について、関係省庁のウェブサイト等で確認しておくこと（15時間）</li> <li>・適宜、「学習指導要領」、「教育小六法」等の参考図書において、講義と関連する事項について確認すること（15時間）</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト 「現代の教師論」ミネルヴァ書房 参考資料 講義中で配布する資料のほか、適宜紹介する。</p>	<p>教職科目 養護教諭専門科目 教職実践演習</p>

課題に対するフィードバック

課題を出した場合、ピックアップして講義中にコメントする。

備考

外部講師による講義や現場観察等を行う場合もあります。

科目名	教育課程論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	後期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解する。また、各学校や地域の実情に合わせて教育課程の編成を含むカリキュラム・マネジメントを行うことの意義・方法について学習する。

到達目標

" 学習指導要領を中心として、学校教育の動向を理解し、教育課程の位置づけ、役割、編成の意義について理解する。  
教育課程の編成方針を理解し、現代の教育課題に対応した教育課程の編成の実際についての知見を得る。  
カリキュラム・マネジメントの重要性・意義を理解し、教育課程の設計・改善ができる。 "

成績評価方法

試験70%、提出課題等20%、授業内ワーク等10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション??授業の概要・受講に際する留意事項、教育課程を学ぶ意義	
2) 学習指導要領の性格と教育課程の位置づけ	適宜、対話形式ですすめる
3) 教育課程の意義と社会・生活	適宜、対話形式ですすめる
4) 教育課程の編成原理	適宜、対話形式ですすめる
5) 教育内容の選択と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
6) 教育課程と教育環境	適宜、対話形式ですすめる
7) カリキュラム・マネジメント	適宜、対話形式ですすめる
8) 教育課程と評価	適宜、対話形式ですすめる
9) 各学校種の教育課程	適宜、対話形式ですすめる
10) 効果的な教育活動と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
11) 地域や学校の特性と教育課程の実践	適宜、対話形式ですすめる
12) 教育課程の歴史	適宜、対話形式ですすめる
13) 学習指導要領の変遷	適宜、対話形式ですすめる
14) 教育課程改革の動向	適宜、対話形式ですすめる
15) まとめ これからの教育と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
授業外学習	
<p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。（20時間）</p> <p>【その他】最新の教育制度および施策について、関係省庁のウェブサイト等で確認しておくこと（10時間）</p> <p>学習指導要領及びその解説の類、「教育小六法」等の参考図書において、講義と関連する事項について確認すること（10時間）</p> <p>教育課程の編成について実際に試作したり、他者と論じたりする時間を持つこと（10時間）"</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>&lt;テキスト&gt;「基礎からわかる教育課程論」大学図書出版</p> <p>&lt;参考書&gt;文部科学省「幼稚園教育要領解説（最新版）」「小学校学習指導要領解説（最新版）」「中学校学習指導要領解説（最新版）」「高等学校学習指導要領解説（最新版）」</p> <p>その他 適宜、講義中において紹介する。"</p>	教育方法の研究



課題に対するフィードバック

課題を出した場合、ピックアップして講義中にコメントする。

備考

科目名	教育相談・カウンセリング						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	1年	後期			
担当者名	脇 貴典		関連する資格	養護教諭一種免許状			
<b>授業概要</b> 教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。 幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせて学習する。							
<b>実務経験</b> 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー 埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員 所沢市教育委員会 就学支援相談員 埼玉県戸田市教育委員会 スーパーバイザー							
<b>到達目標</b> D1203y ・学校における教育相談の意義と理論を理解する。 ・教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。 ・教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。 ・専門職としてかかわる中で必要なコミュニケーション技術とカウンセリングの基本がわかる。			<b>成績評価方法</b> 小テスト、授業内レポート（60%）、宿題、授業外レポート（10%）、授業態度・授業参加度（30%）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方・教育相談とは 【予習】「教育相談」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 教育相談の基本的な考え方とその意義 【予習】「教育相談の意義」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 教育相談に関わる基礎的な理論 【予習】「教育相談の理論」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
4) 教育相談活動に必要なカウンセリングマインド 【予習】「カウンセリングマインド」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) 児童生徒への支援 見立てから対応 【予習】「見立て・アセスメント」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) 児童生徒への支援 心理教育プログラム 【予習】「心理教育」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 受容 【予習】「カウンセリングと受容」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 傾聴 【予習】「カウンセリングと傾聴」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 共感的理解 【予習】「共感的理解」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
10) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 問題解決 【予習】「相談における問題解決」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 校内連携による教育相談的対応（コンサルテーション） 【予習】「学校コンサルテーション」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 児童生徒の諸問題への対応（危機介入） 【予習】「学校での危機介入」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
13) 教育相談システムの構築と組織的取り組み 【予習】「教育相談システム」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
14) 地域における専門家との連携による相談体制と教師のメンタルヘルス 【予習】「教師のメンタルヘルス」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
15) 統括（学校における教育相談活動の在り方） 【復習】授業内容についてふりかえり、まとめる（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布する資料について、熟読しておく。</li> <li>・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト 大石幸二 監修 先生のための保護者相談ハンドブック 学苑社 2020年 参考書・参考資料等 岩壁 茂 編集 カウンセリングテクニック入門 金剛出版 2015年	

課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

1 ~ 8 回分はオンライン授業（授業動画閲覧）  
9 ~ 15 回分を対面授業（集中講義：2日）

科目名	学校体験活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	1	1年	通年(前期)
担当者名	新開 奏恵、白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。  
 教職員の姿から教師としての姿勢や職務を学び、児童・生徒の理解を深める。学級運営や学習指導の観察・参加等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、応用できる能力を養い、教員(養護教諭)としての自覚を高める。  
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、学校体験活動について授業を行う。

到達目標

- D1401ay  
 1. 児童・生徒の学校生活の実態に対して、学校運営や教員の資質を理解する。  
 2. 教員としての適切な判断・指導についての理解を深める。  
 3. 教員を目指す上での自分の課題を知る。

成績評価方法

- レポート(20%)  
 授業態度(20%)  
 プレゼンテーション(20%)  
 グループワーク(10%)  
 学校体験活動(30%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10				10
演習							0
実習		10	10	10			30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
事前指導計画 1. 教員としての資質 2. 養護教諭の仕事 3. 社会人としてのマナー 4. 学校体験の目的		グループワーク
授業外学習		
「教職を目指す学生の学校体験制度」「山口県教育推進の手引き」を山口県教育委員会ホームページで確認する。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
	学校保健、養護概論、健康相談活動、養護実習指導、養護実習、小児看護、教職科目	

課題に対するフィードバック

コメントを付け返却する。

備考

科目名	学校体験活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	1	1年	通年(後期)
担当者名	新開 奏恵、白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。  
 教職員の姿から教師としての姿勢や職務を学び、児童・生徒の理解を深める。学級運営や学習指導の観察・参加等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、応用できる能力を養い、教員(養護教諭)としての自覚を高める。  
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、学校体験活動について授業を行う。

到達目標

- D1401ay  
 1. 児童・生徒の学校生活の実態に対して、学校運営や教員の資質を理解する。  
 2. 教員としての適切な判断・指導についての理解を深める。  
 3. 教員を目指す上での自分の課題を知る。

成績評価方法

- レポート(20%)  
 授業態度(20%)  
 プレゼンテーション(20%)  
 グループワーク(10%)  
 学校体験活動(30%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10				10
演習							0
実習		10	10	10			30



授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
事前指導計画 1. 教員としての資質 2. 養護教諭の仕事 3. 社会人としてのマナー 4. 学校体験の目的		グループワーク
授業外学習		
「教職を目指す学生の学校体験制度」「山口県教育推進の手引き」を山口県教育委員会ホームページで確認する。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
	学校保健、養護概論、健康相談活動、養護実習指導、養護実習、小児看護、教職科目	

課題に対するフィードバック

コメントを付け返却する。

備考

科目名	生物学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	祐村 稔子	関連する資格		

授業概要

細胞から人体まで、その構造と機能に関する基礎的な知識を再確認し、確実に習得することを目指す。

到達目標

B1221

看護に関連する生物学の基礎学力を身につける。

成績評価方法

期末試験結果に加え、宿題、演習問題の学習状況を加点して総合評価を行います。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 人体のなりたち（細胞・組織） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
2) 人体のしくみ（循環系・呼吸系） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
3) 人体のしくみ（排出系） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
4) 人体のしくみ（消化系と代謝） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
5) 人体のしくみ（感覚器官と神経系） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
6) 人体のしくみ（骨格・筋肉系） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
7) 人体のしくみ（内分泌、免疫） 【復習】演習問題（30分）	演習問題
8) 遺伝、生化学の基礎 復習】演習問題（30分）	【演習問題
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
講義で扱った項目に関する演習問題を宿題とします。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリント配布	生物学、人体の構造と機能

課題に対するフィードバック

演習問題の採点結果を返却

備考

科目名	化学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	山城 安啓	関連する資格		

授業概要

日常生活に関係する物質や様々な現象を取り上げ説明し、理解させることで化学に親しみを持たせることから始める。また、この知識を発展させ生化学を学ぶ上での基礎となる化学の知識を身に付けさせる。原子・元素の構造と機能など無機化学を中心に学習し、有機化学・教養教育の化学へと結びつけるとともに、生化学、薬理学等の講義に備える。

到達目標

B1222

化学の基礎知識を習得する

- 1) 元素記号と分子の構造の表し方が説明できる。
- 2) 浸透圧、沸点上昇、凝固点降下等の現象を説明できる。
- 3) 酸・塩基の違いを説明できる。
- 4) 酸化還元を説明できる。
- 5) 化学反応式が書ける。
- 6) 様々な濃度の計算ができる。

成績評価方法

出席回数を満たしていることと期末試験で評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							90	
小テスト、授業内レポート							5	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							5	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 身のまわりの化学、化学の単位と元素 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
2) 原子の構造、化学式 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
3) 物質の三態 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
4) 液体・溶液の性質 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
5) 化学反応 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
6) 酸塩基平衡、酸と塩基 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
7) 化学結合 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
8) 総括 【復習】過去の小テストを復習しておいてください(90分)。	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業計画に沿って、講義を進めて行きます。 授業開始時、毎回小テスト(前回講義内容)を行います。講義資料や参考書等を利用して復習しておいてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
PowerPointで作成した講義資料 参考書 高校の化学の教科書 「系統看護学講座 基礎 化学 医学書院」	化学や生化学

課題に対するフィードバック

各人が授業内課題で作成した問題は、次の週の小テストに活用し、試験後に解説を行う。

備考



科目名	物理学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業（ズームを使った双方向型授業）に切り替える場合もあります。なお、どちらの形態の授業でも、Classroomを使って資料の配布、及び出席確認のため、各回の課題提出を求めます。必ず、提出してください。

後期の「物理学」の授業を理解するために必要な基本的な物理の事柄を学ぶ。  
特に、看護の物理で最も必要となる「圧力」「この原理」を重点的に学ぶ。  
グループ討議を設定。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B1223  
看護師、保健師で必要となる物理の基本的な事柄がわかる。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その1 予習；物理の基礎の資料全体を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その2 予習；運動全般を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その3 と小テスト 予習；運動全般を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 熱と気体の運動、比熱計算 予習；熱と気体の運動について調べておく（30分）。復習；熱、比熱などの計算問題を解いてみる（30分）	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 圧力 その1 予習；圧力全般について調べておく（30分）。復習；圧力の基本単位を理解する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 圧力 その2 予習；動圧、静圧について調べておく（30分）。復習；表面張力と濡れ現象について確認すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 濃度計算と音 予習；濃度と音について調べておくこと（30分）。復習；濃度計算をやってみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 確認テストと解答の解説 予習；物理の基礎資料の全体を読み返して、計算問題が解けるようになっておくこと（1時間）。	確認テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業計画に沿って、テキスト・資料の該当単元を熟読してきてください。 テキスト・講義資料を復習して下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
看護に必要な 「やりのし数学・物理」照林社。 資料はClassroom上にアップする。	数学の基礎、物理学、地球の環境

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	数学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業（ズームを使った双方向型授業）に切り替える場合もあります。なお、どちらの形態の授業でも、Classroomを使って資料の配布、及び出席確認のため、各回の課題提出を求めます。必ず、提出してください。

看護に必要な数学の知識として、基本的な数の概念、計算のルール・式のルールを確認する。  
また、看護師国家試験に出題されている問題をもとに、解くために必要な基本的な知識を学ぶ。  
毎回、グループ討議の時間を設定。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B1224

看護の専門科目の理解を容易にし、看護師国家試験に出る数学の問題を解く。

成績評価方法

毎回行うテスト、毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 基本ルール（範囲、計算順序、倍数、単位数）、小テスト 予習；数学の基礎資料、全般を概する（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	
2) 分数の計算1（分数 少数、通分、約分）、小テスト 予習；分数の計算全般を概観する（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
3) 分数の計算2（分数種類、帯分数、掛け算等）、小テスト 予習；分数の計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
4) 比例（比、比例、比例の性質）、小テスト 予習；比例計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
5) 割合（百分率、歩合、割合、基準にする量）、小テスト 予習；割合の計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
6) 速さ（求め方、単位変換、道のり、時間等）、小テスト 予習；速さの計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
7) 調査（全数・標本調査、母集団、推定等）小テスト 予習；調査全般について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
8) 看護に必要な計算の確認テスト 予習；看護国家試験の過去問を調べておく（1時間）。復習；テストの内容を完全に理解する（30分）。	確認テストの結果で自分の現在の實力を知る。
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキスト・資料の該当単元を熟読してきてください。テキスト・講義資料を復習する。            テスト結果を見て、間違った箇所を確認する。看護師国家試験の計算問題（過去問）が確実に解けるように自宅でも筆算を中心とした復習をする。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「やりなおし数学・物理」照林社	物理の基礎、物理学、データの科学的な見方、保健統計

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	英語の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。4技能の運用に必要な基礎的文法知識を身に着けるための授業を展開する。また、日常生活や地域の話題を取り上げた英文を読み、速読直読の習慣を身に付ける。さらに、パラグラフ・リーディングおよびライティングを行い、英語の文章構成を理解する。

到達目標

B2202

- 1 英語の基礎的文法を理解することが出来る。
- 2 異文化を理解し、英語で簡易なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート							20	
宿題、授業外レポート							10	
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション							10	
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の文法事項についての概略的説明 文法事項 1 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 英語の学習法についての助言 文法事項 2 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 英語リーディングについての説明 文法事項 3 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 英語ライティングについての説明 文法事項 4 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 英語リスニングについての説明 文法事項 5 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 英語スピーキングについての説明 文法事項 6 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 英語プレゼンテーションについての説明 文法事項 7 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 文法事項 8 総括およびテスト テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『English Aid 基礎から学べる大学英文法総合演習』 白倉美里 金星堂	エッセンシャルイングリッシュ



課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。